

2019.3.2

地域医療

一地域

を

診る

開業医、在宅医の役割一

新潟県在宅ケアを考える会 会長

新潟県糖尿病対策推進会議 理事

NPO法人 エンジョイスポーツクラブ魚沼 理事長

NPO法人 スノーパーク小出 理事長

上村医院 上村 伯人



上村医院

診療時間 （内科・小児科）
月曜日～土曜日 午前9時～12時
月・火・木曜日 午後5時～6時30分

〒946-0003 新潟県魚沼市諏訪町 1 - 1 2
TEL 025-792-0143
FAX 025-792-9291
Mail kami-iin@circus.ocn.ne.jp



業務内容

医療：外来（午前・夕方）約1,350人／月（のべ2,100人）
訪問診療（午後） 在宅 40人／月 施設 70人／月

保健：校医 小学校(742名)・中学校(310名)・高校(480名)・障害児施設(100名)
産業医(14事業所)・予防接種・住民健診・健康教室・講演会・日体協公認
スポーツドクター・NPO理事長として出張（約120回／年）

福祉：養護老人ホーム(50名)の嘱託医 主治医意見書210名
居宅療養管理指導算定者数60名 介護認定審査会

教育：医学生 約20名／年 研修医 約20名／年

医 師 法

第 1 章 総則

第 1 条

医師は、医療及び保健指導を掌ることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする。

保健師さんから相談がありました

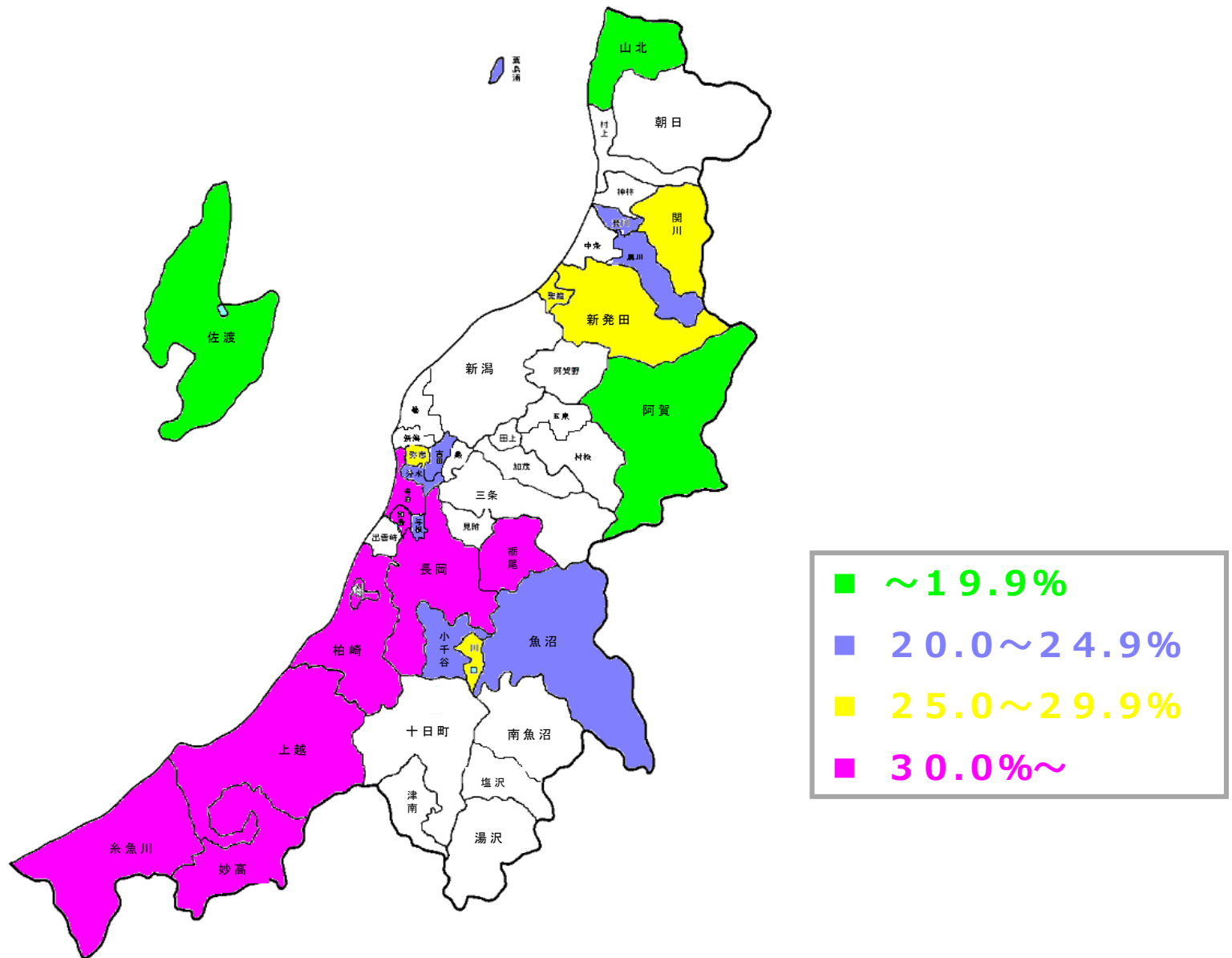
うちの市は
糖尿病が急増しているようです。

どうしたら良いのでしょうか？



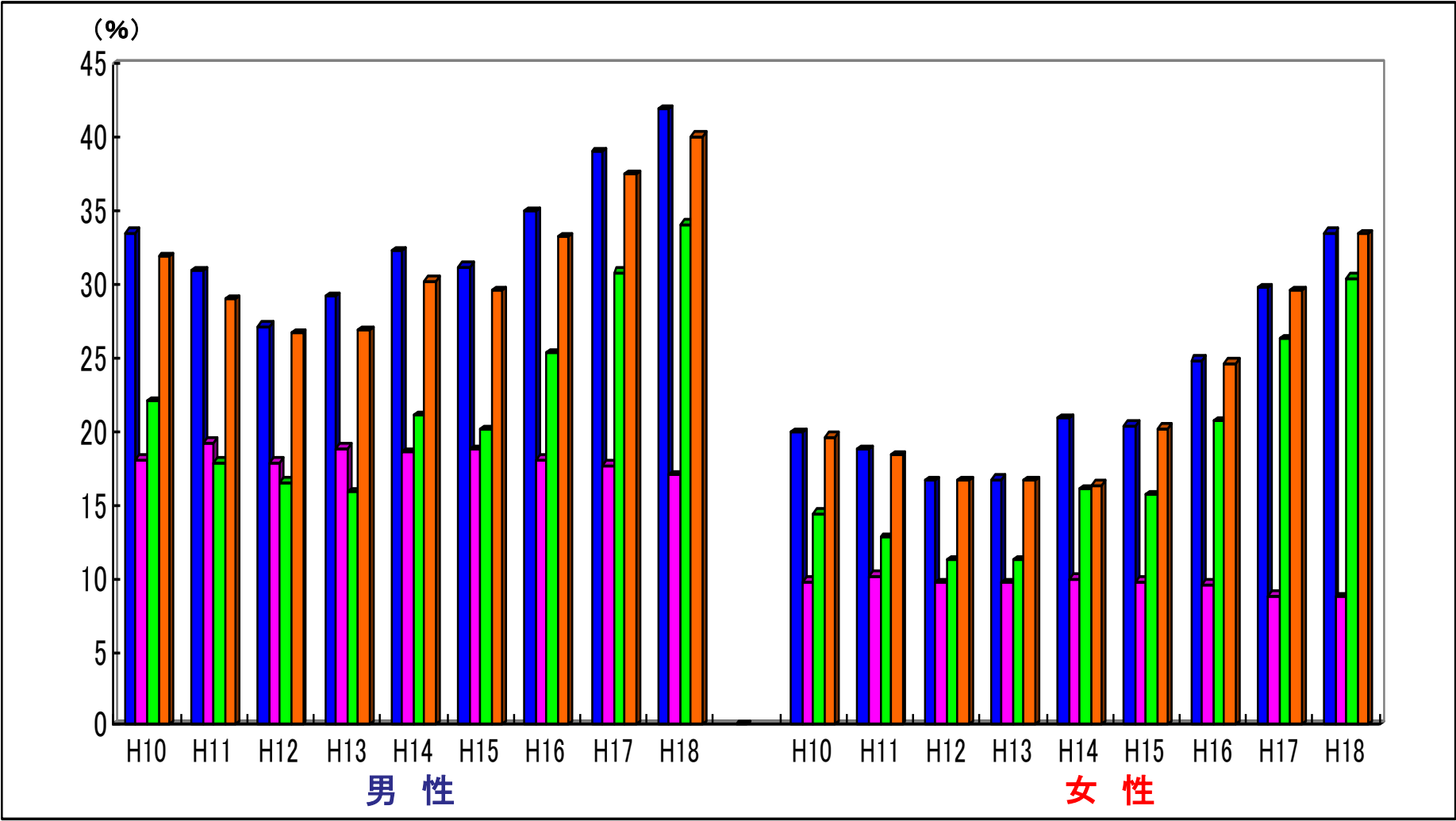
平成17年度

HbA1c 全員実施25市町村におけるHbA1c 5.5%以上の割合 (40歳以上)



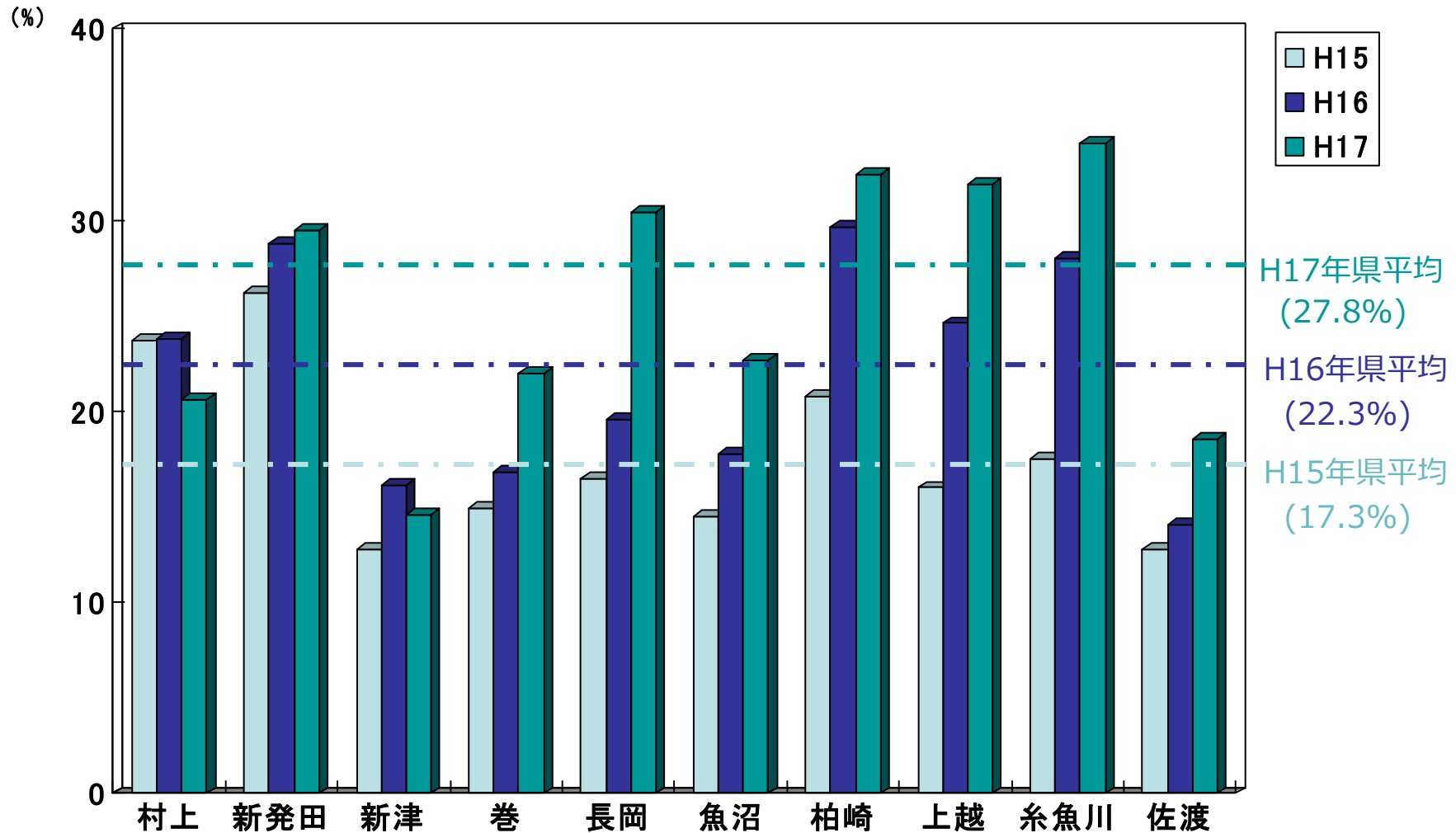
平成10年～18年度

HbA1c全員実施市町村の糖代謝成績 (症度Ⅱ以上)



■ 糖代謝 ■ 血糖 ■ HbA1c ■ 血糖or・ & HbA1c

新潟県医療圏別 HbA1c5.5%以上割合 (HbA1c 全員実施市町村)



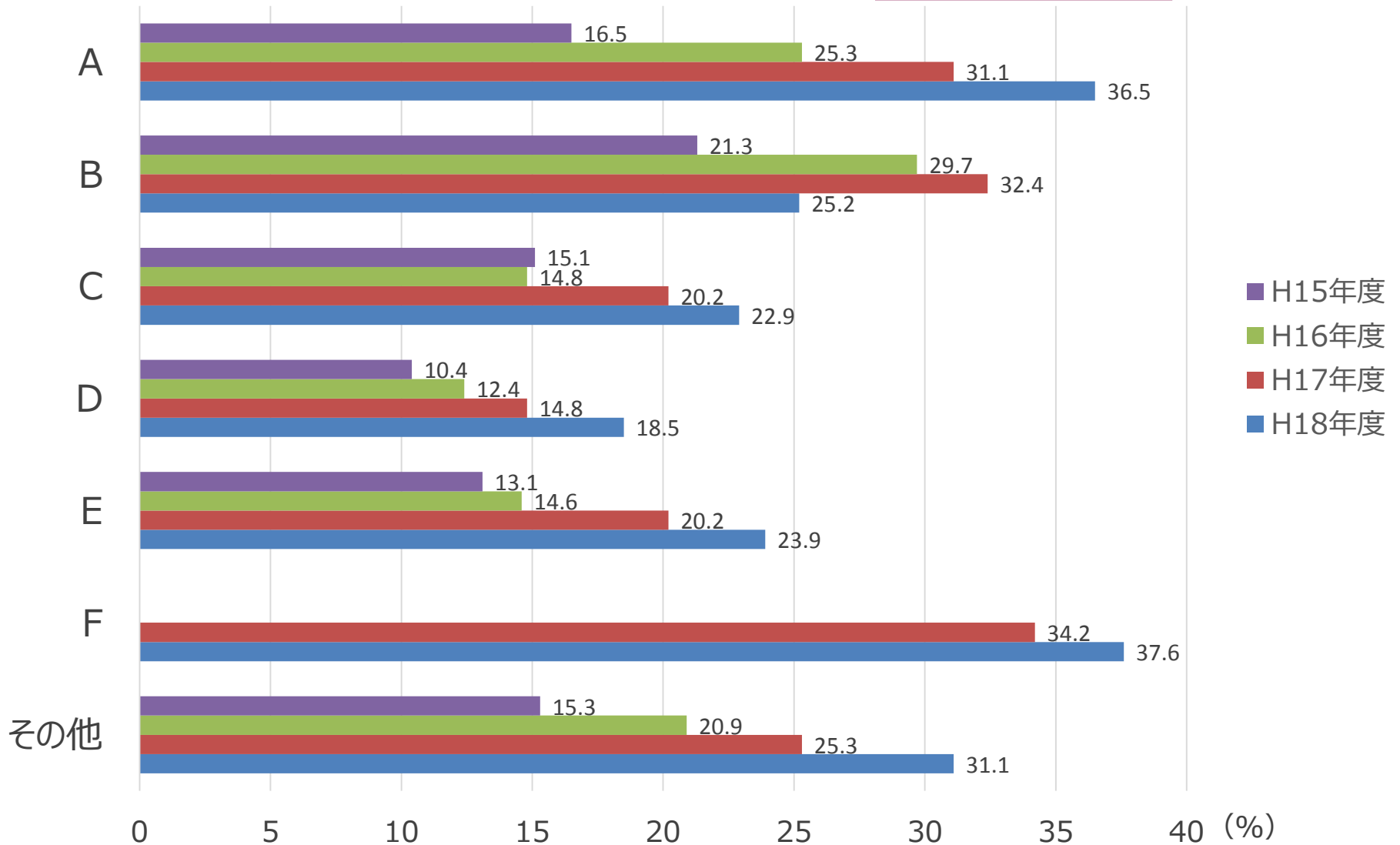
※三条、南魚沼、十日町管内全員実施市町村なし

H18年度 新潟県糖尿病検診結果

検診機関別の症度Ⅱ（要指導）以上の割合（HbA1c全員実施市町村分）

HbA1c

HbA1c $\geq$ 5.5%



全国都道府県基本健診HbA1c実施状況アンケート

調査内容

- ・ HbA1c全員実施市町村数
- ・ 基本健診受診者数
- ・ HbA1c検査実施数
- ・ HbA1c検査実施割合
- ・ 糖代謝異常者数
- ・ 糖代謝異常者割合
- ・ HbA1c $\geq$ 5.5%の数
- ・ HbA1c $\geq$ 5.5%の割合

調査方法

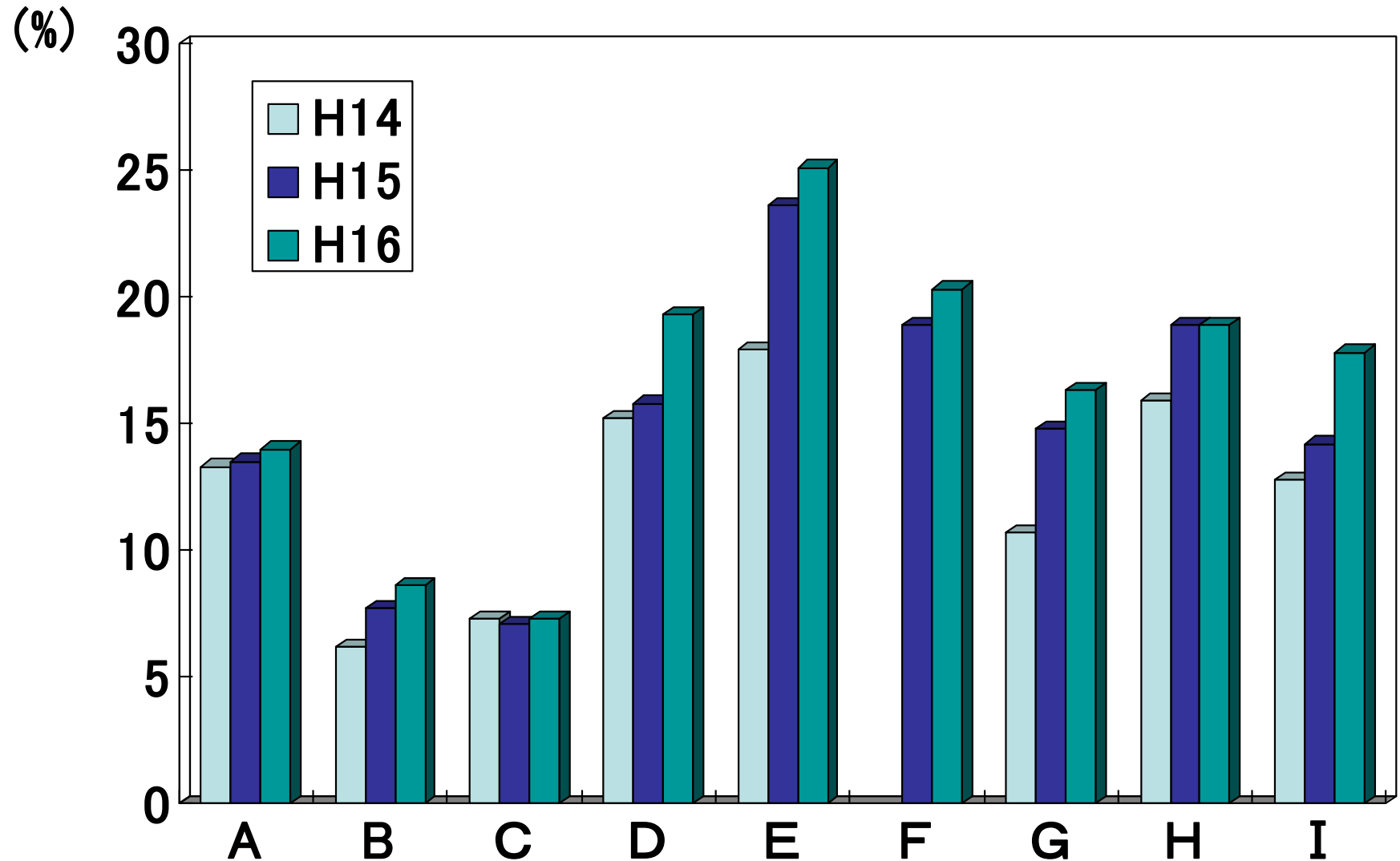
- ・ 新潟県福祉保健部より都道府県基本健診担当係宛てに調査票送付しメール又はFAXにて回収

調査機関

- ・ 平成18年7月27日～8月7日

平成14年～16年度 基本健診HbA1c高値者割合の推移

HbA1c実施者率70%以上の9道県



考 察

1. 糖尿病検診におけるHbA1c高値者の割合の増加は、HbA1c検査値の経年的上方変移によると考えられ、HbA1c検査精度管理の問題と考えられた。
2. 糖尿病診断、糖尿病検診、疫学調査や糖尿病対策事業の評価にHbA1cのみを用いての評価の危険性が示された。
3. 平成20年度からの特定健診でHbA1c検査が導入されるが、今後の精度管理システムの確立が望まれる。

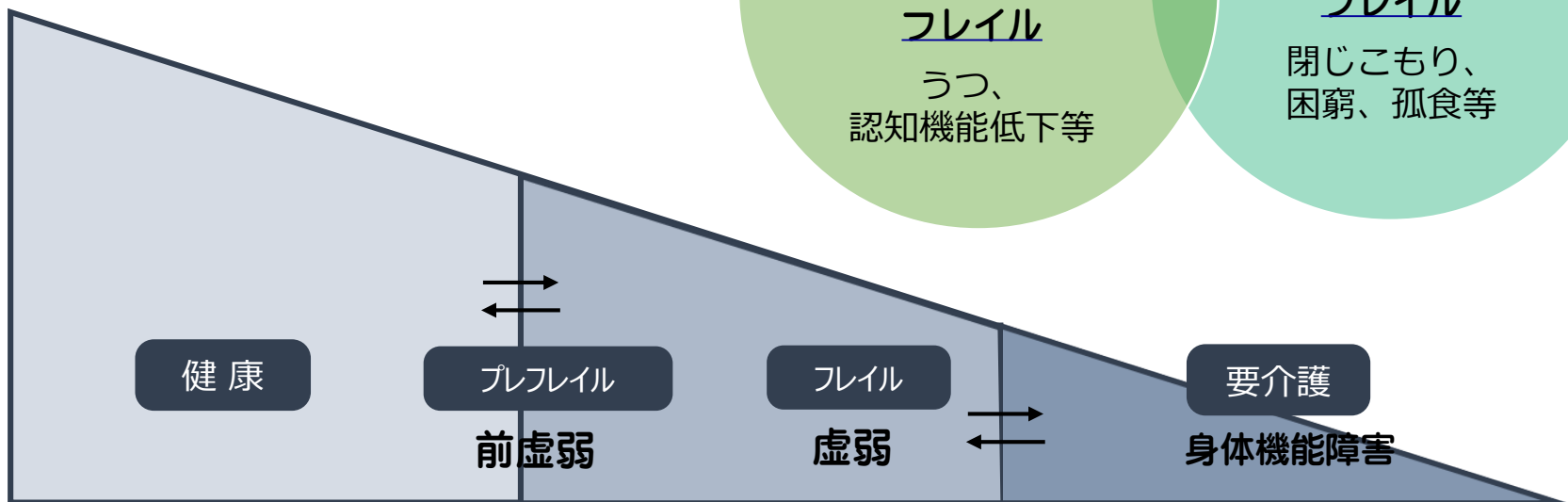
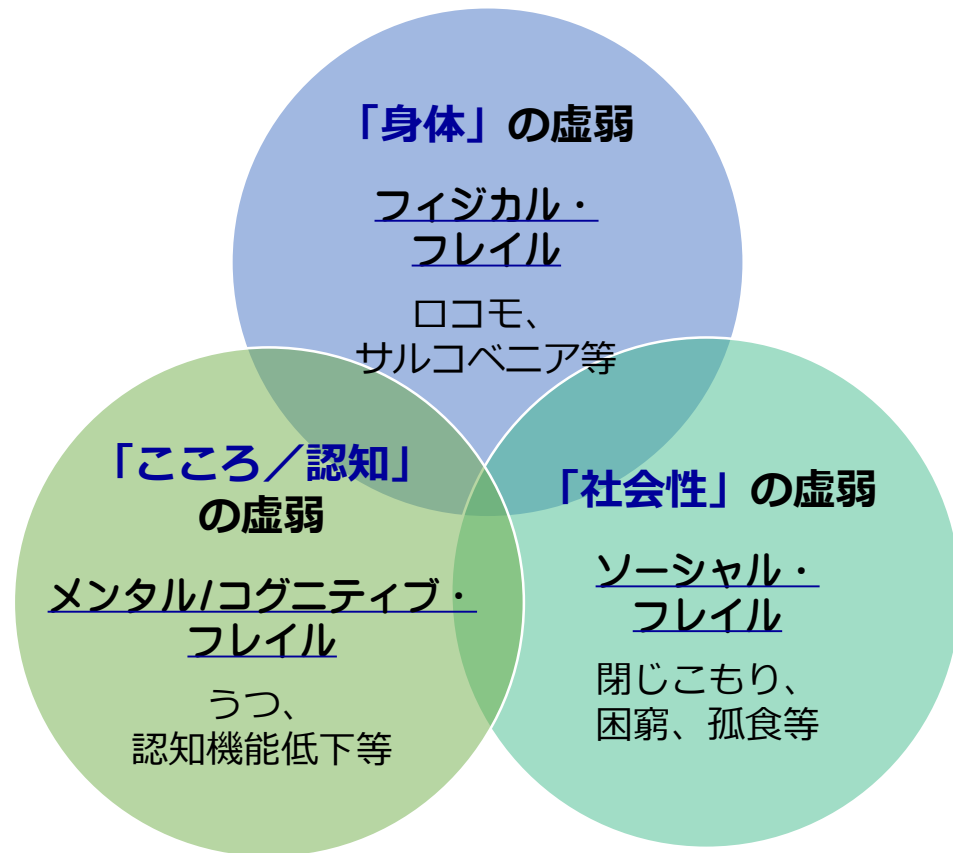
➡ 厚生労働省、日本糖尿病学会理事会へ報告

➡ その後 2007年2月13日 JCCLS認定小委員会標準物質小委員会より、「HbA1c測定の総合的な不確かさの評価手順と基準(Ver.1.4:2007.2.13)」が発表され、改善がはかられています。

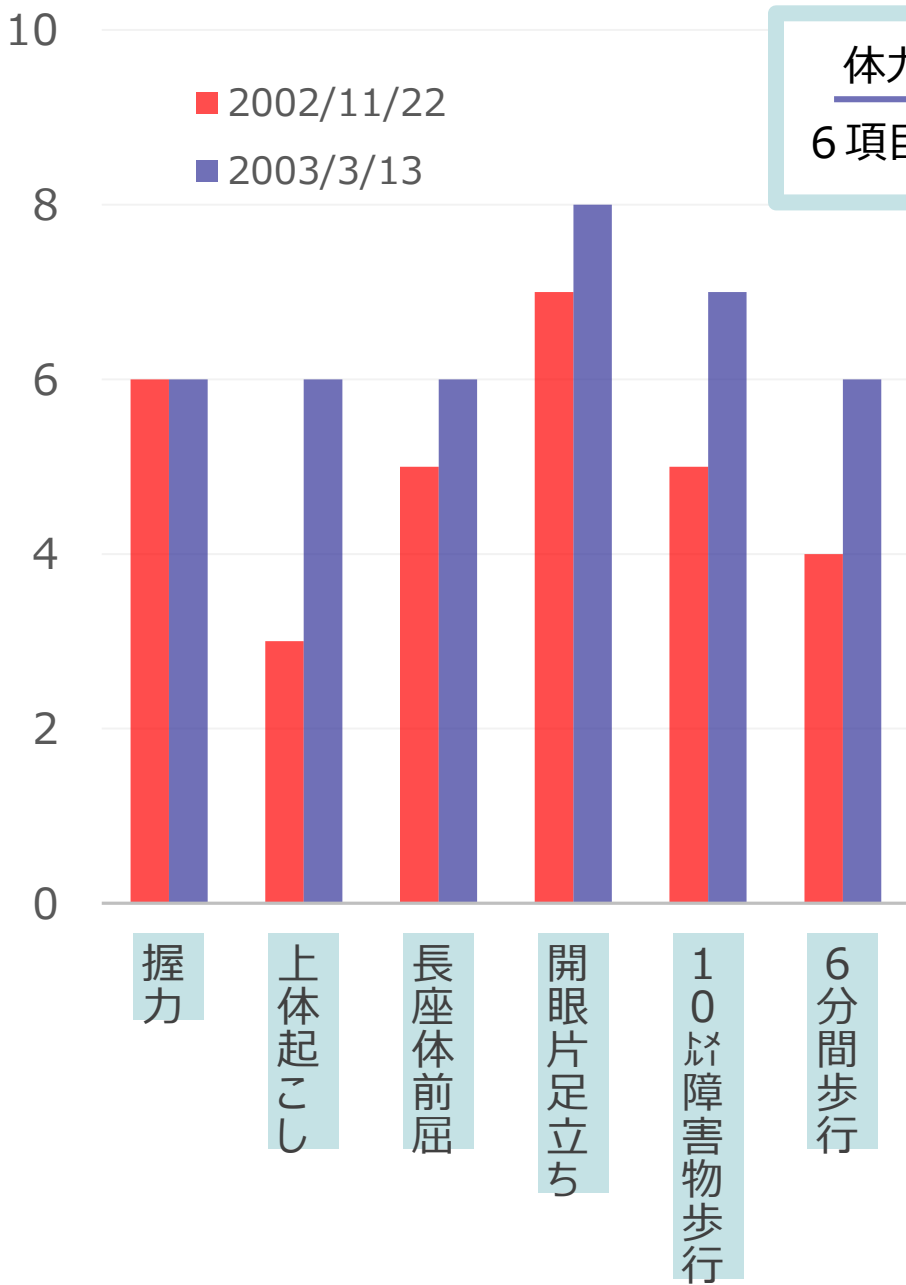
「フレイル」(虚弱)とは

虚弱 (Frailty) ⇒ フレイル

- ① 中間の時期
- ② 可逆性 (Reversibility)
- ③ 多面性



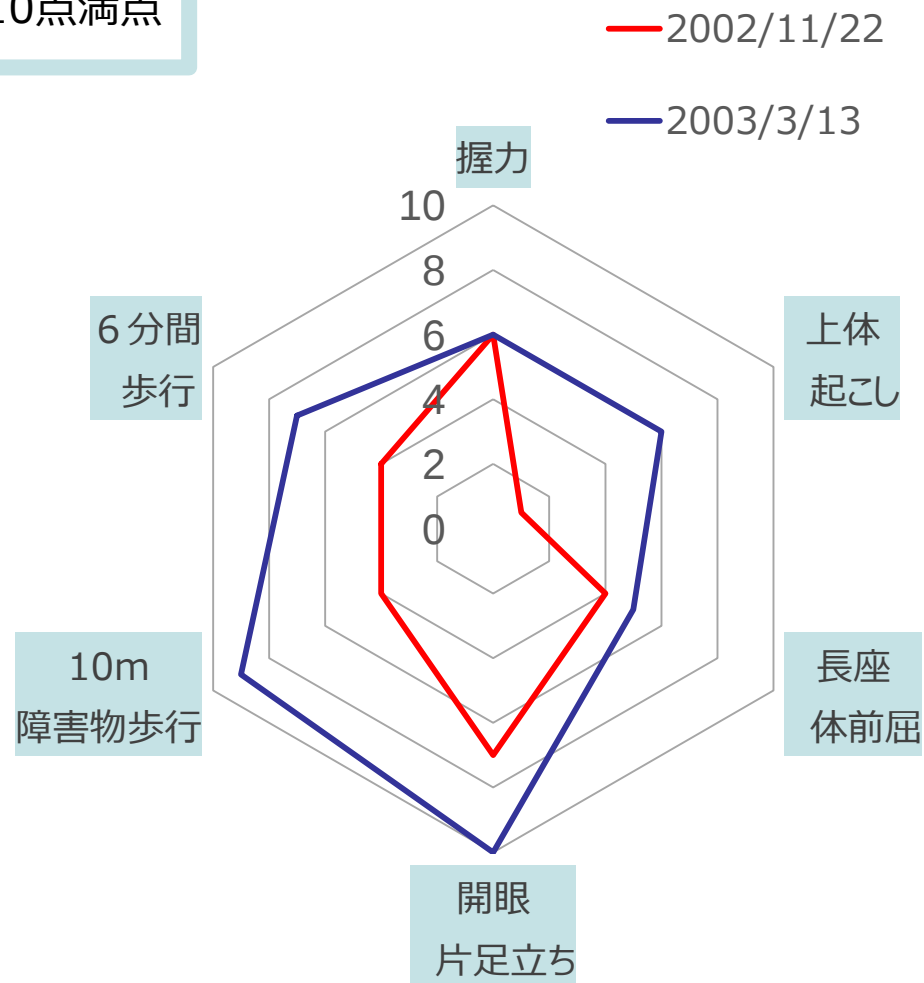
体力測定各項目の推移（平均点）



体力プロフィール

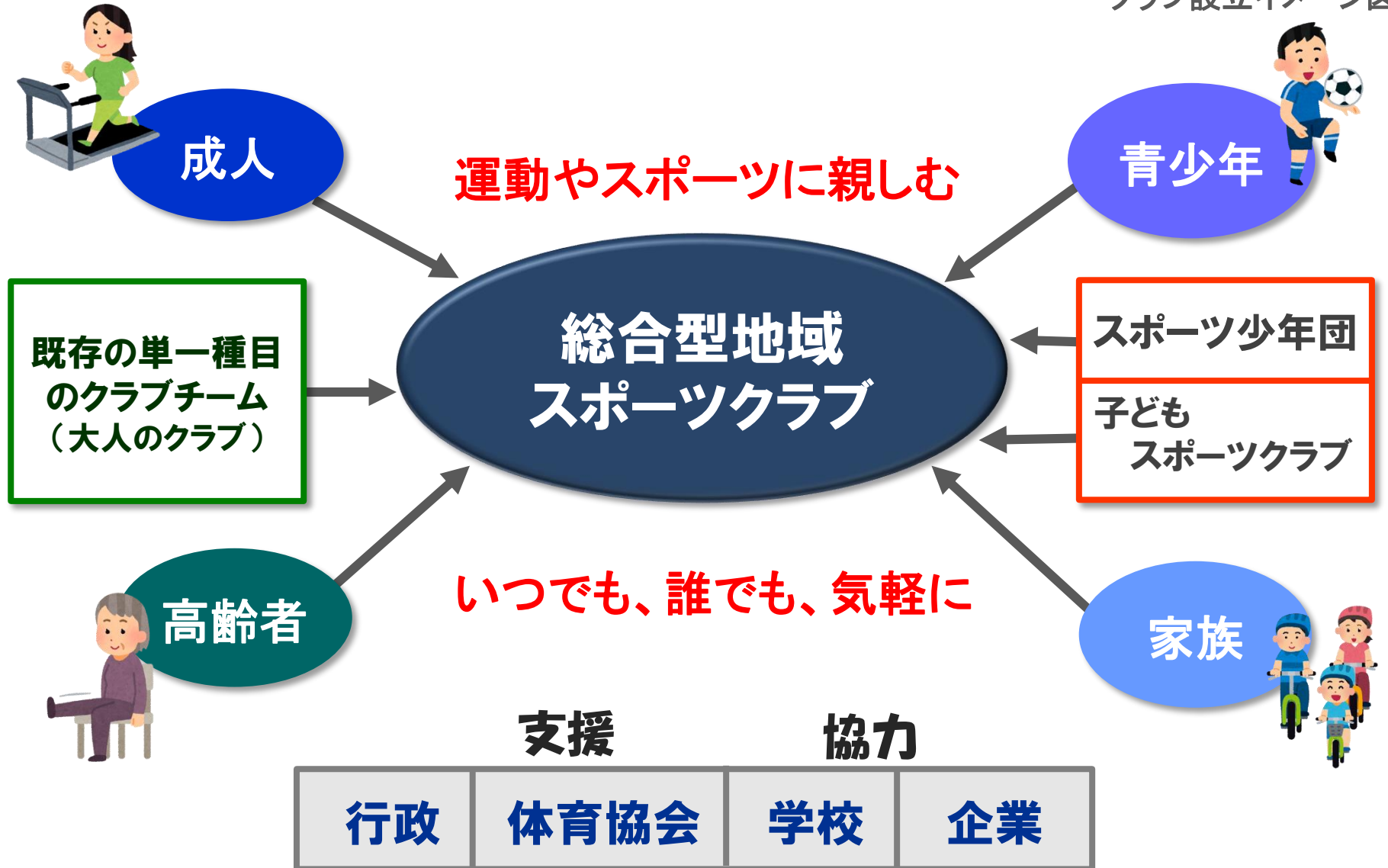
6項目：10点満点

78歳 女性の例



NPO法人 エンジョイスポーツクラブ魚沼

クラブ設立イメージ図



エンジョイスーツクラブ魚沼

H30年度事業内容

- ◆ 若返りトレーニング教室（65才以上）・・・福祉課より受託
- ◆ 放課後ぴよんぴよん体操（小学生）・・・教育委員会より受託
- ◆ フットサルスクール（中学生）
- ◆ フィットネスプログラム（高校生以上）
- ◆ フリースポーツデー（高校生以上）
- ◆ 若トレスポーツデー（60才以上）
- ◆ フリーバスケット（高校生以上）
- ◆ ウェイトトレーニング教室
- ◆ 健康運動教室・・・健康課より受託



魚沼市福祉課より受託 若返りトレーニング教室

● 目的

高齢者が継続的に運動を実践することにより、転倒骨折や運動機能低下を防止し、健康でいきいきとした生活を送ることができるようにする。
また介護予防に関する知識の普及啓発により、地域における自発的な介護予防活動の育成、支援に資することを目的とする。

● 参加者の推移

H 1 5 年度 1 0 0 名

H 1 6 年度 1 7 5 名

H 1 7 年度 3 5 0 名

H 1 8 年度 3 8 0 名

H 1 9 年度～ 4 0 0 名

年間 90回 週2回コース（8教室）

年間 45回 週1回コース（7教室）

メディカルチェックと体力測定



ストレッチング



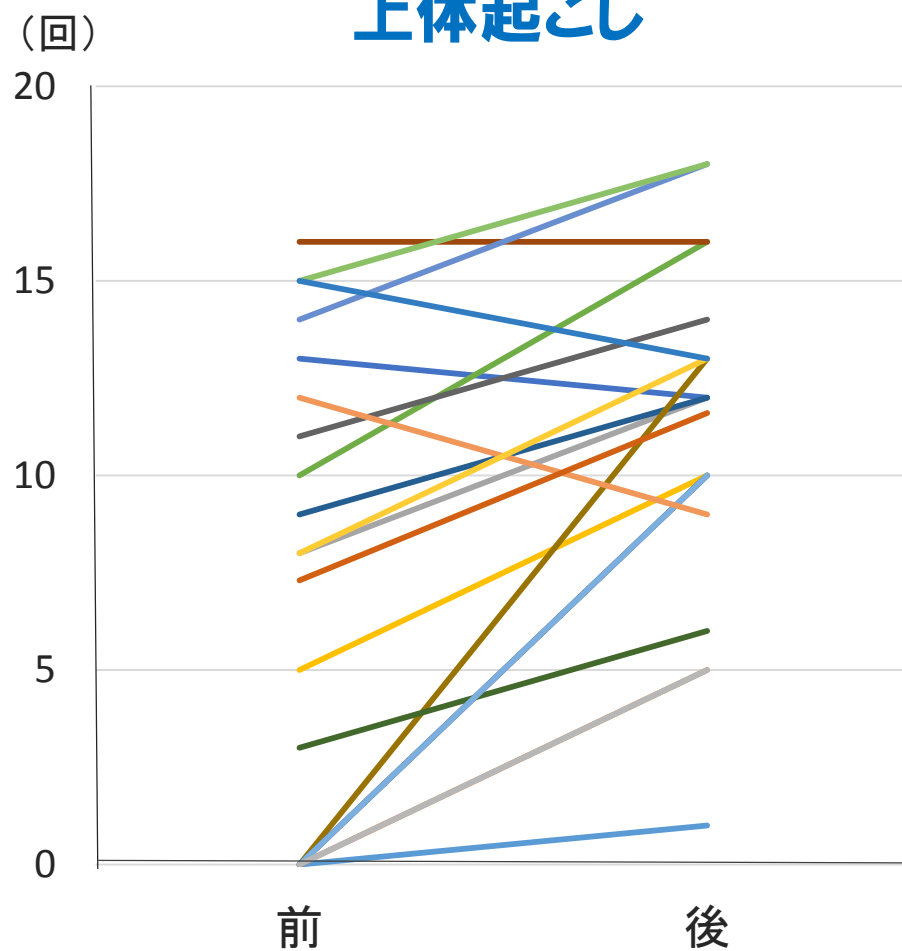
有酸素運動

筋トレ

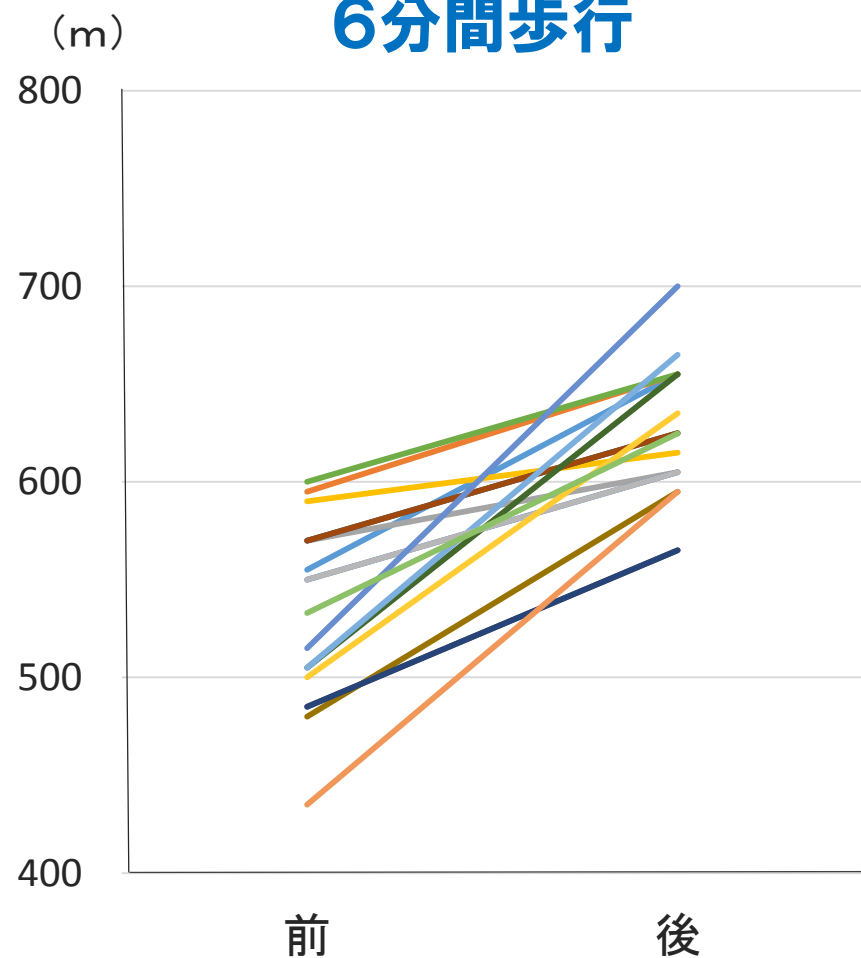




上体起こし

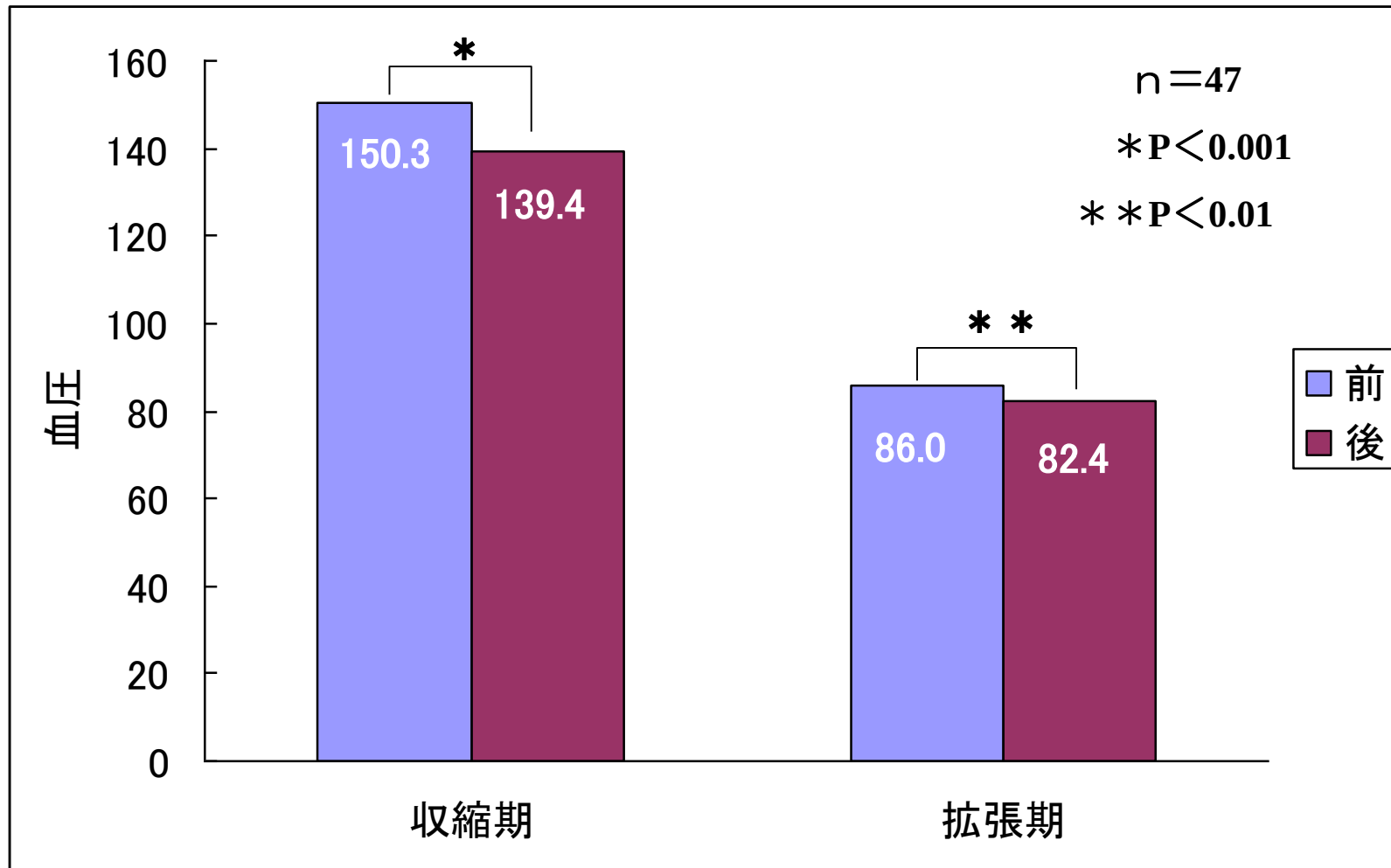


6分間歩行



若返りトレーニング教室による高血圧の改善

－開始時血圧140/90mmHg以上の例の6ヵ月後の血圧変化－

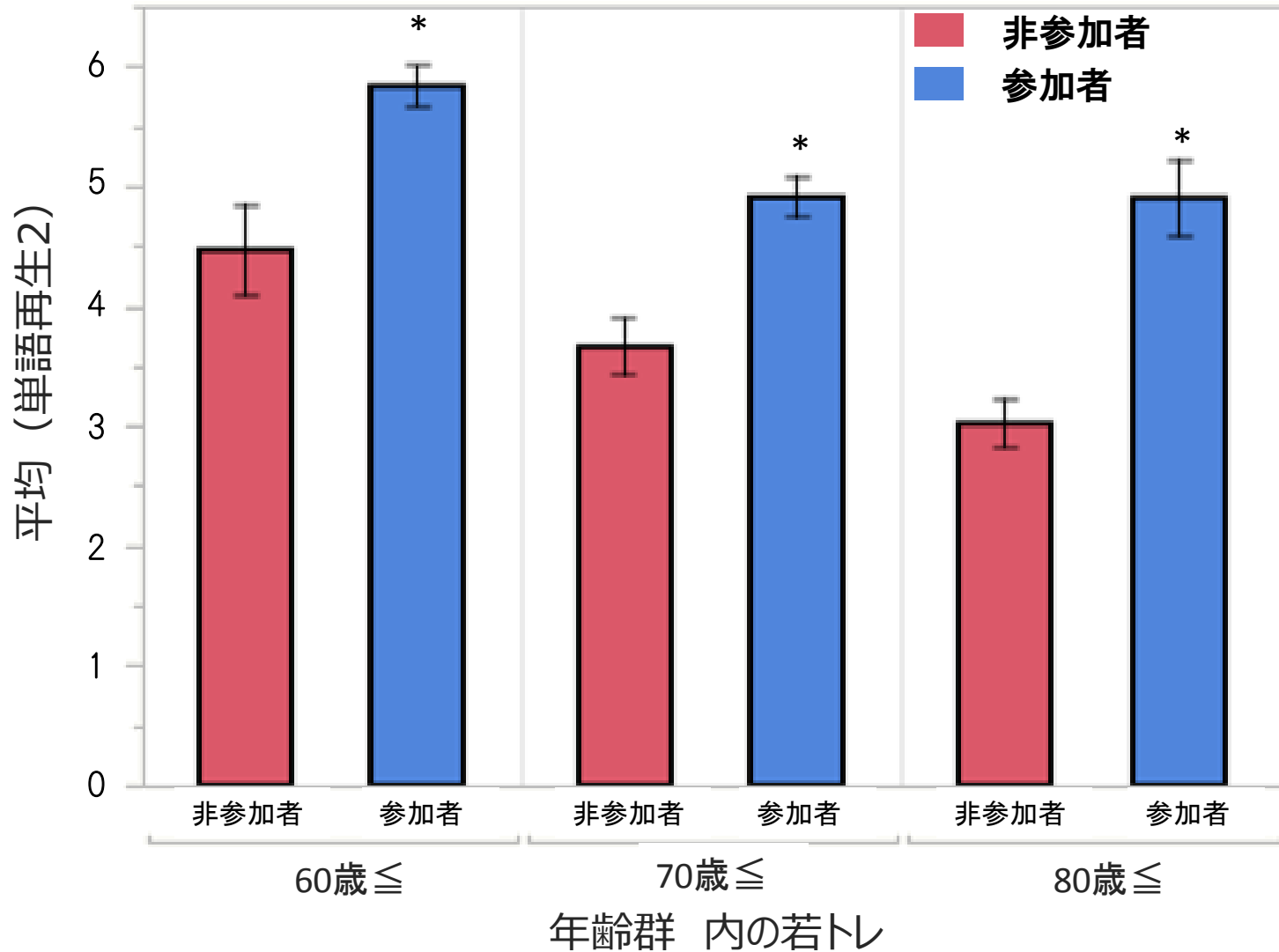


若トレ教室参加者アンケート結果

◎ よかった **78名** ▲ どちらともいえない **2名** ✕ 悪かった **0名**

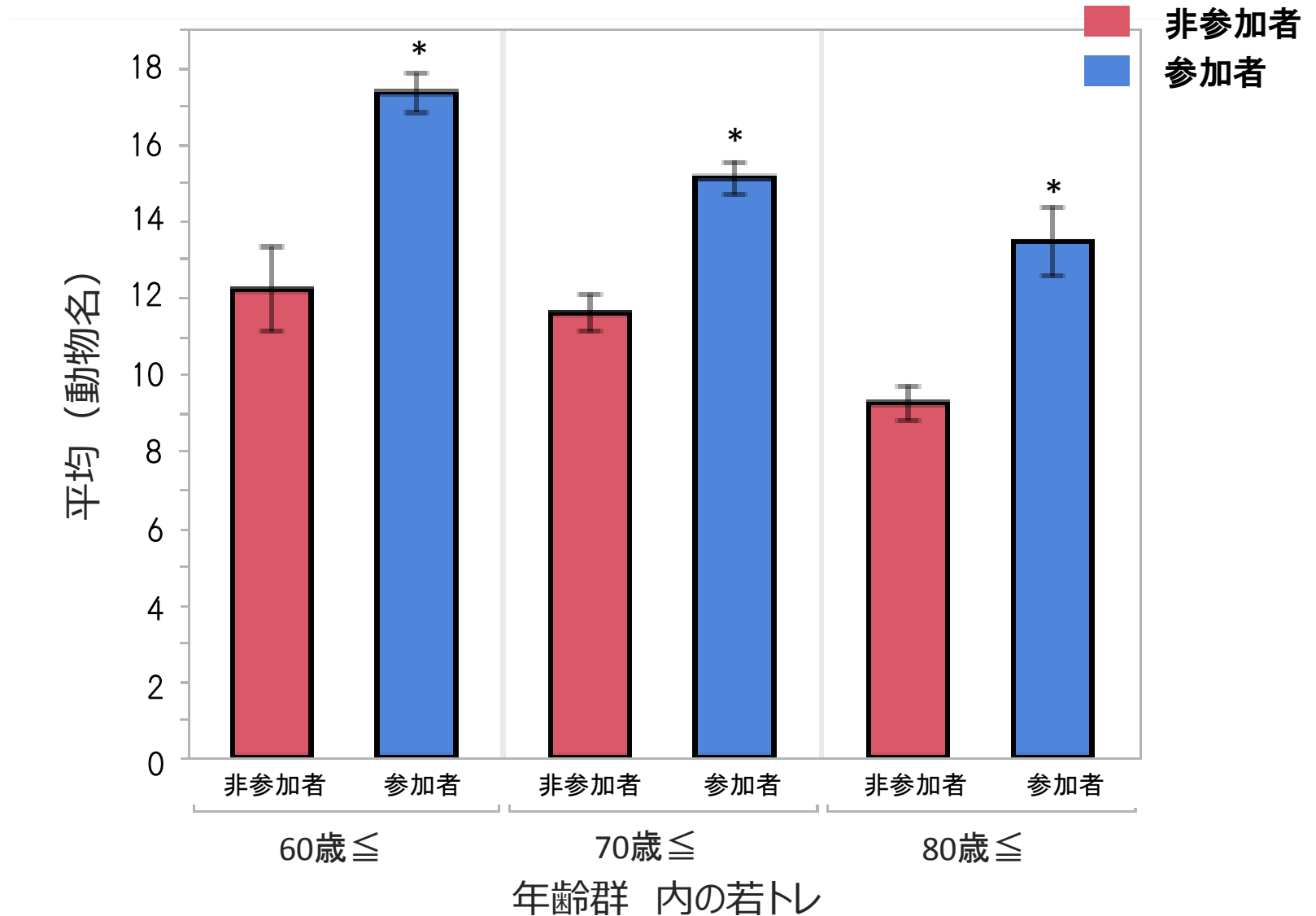
- 体が軽くなった。楽になった。
- 色々な人と出会える。友達が出来た。
- やっていて楽しい。
- 気持ちが充実し、生活が決まりよくなった。
- 足腰が強くなった。
- 運動のやり方がわかった。
- 運動をするとよく眠れる。
- 尿失禁が改善。
- つまづかなくなった。
- 体がやわらかくなった。
- 体力に自信が持てるようになった。

年代別若トレの有無と単語遅延再生数



各誤差バーは、平均から1標準誤差の範囲を表しています。

年代別若トレの有無と動物名想起数



3 単語遅延再生を規定する因子 (単変量相関)

変数	相関	度数	p値
開眼片足立ち	0.5358	52	<.0001
6分間歩行	0.3137	49	0.0282
合計	0.2025	73	0.0858
年齢	-0.1827	79	0.1070
上体起こし	0.1296	50	0.3697
椅子立ち上がり	0.1233	46	0.4144
歯の本数	0.1210	78	0.2913
10m障害物歩行	0.1046	53	0.4560
長座体前屈	0.0888	53	0.5271
握力	0.0067	53	0.9619

3 単語遅延再生を規定する因子 (多変量解析)

項	推定値	標準誤差	t値	p値(Prob> t)
切片	4.9038155	4.288189	1.14	0.2591
年齢	-0.017843	0.043175	-0.41	0.6815
性別	-0.082464	0.299473	-0.28	0.7844
開眼片足立ち	0.0156844	0.005365	2.92	0.0055
6分間歩行	0.0002454	0.002739	0.09	0.929

第6回 日本プライマリケア連合学会 学術大会

演題番号 09



日本プライマリ・ケア連合学会
「地域包括ケア ネットワーク賞」
受賞！

エンジョイスポーツクラブ魚沼 理事長
新潟県在宅ケアを考える会 会長
上村医院 上村 伯人

2015.6.13

医療がいらなくなるのが一番良い医療

上医医未病之病
中医医将病之病
下医医已病之病

～黄帝・内経～

⇒ 医者が足りないなら患者さんを減らそう！

開業医も学術活動

平成9年に診療所を継承してから20年

全国学術集会のシンポジスト

- 日本糖尿病学会（2回）
- 日本糖尿病合併症学会
- 日本臨床スポーツ医学会
- 日本プライマリ・ケア学会（2回）
- 日本医学教育学会
- 日本保健医療連携教育学会（2回）
- 全国学校医大会
- 生涯スポーツ推進全国大会
- 在宅ケアを支える市民・診療所ネット全国大会（2回）

- 学会発表 2～4回／年
- 講演活動 20～40回／年（糖尿病、スポーツ医学、食育、在宅ケア、地域医療、etc.）
- 雑誌・書籍共著 多数

地域医療は

学び
(研究)

です。

魚沼地域糖尿病対策推進会議 設立記念講演会

みんなで防ごう糖尿病

● 開催日時 : 2006年3月16日(木) 17:00~20:00

● 会 場 : 小出郷文化会館
魚沼市千溝1848番地1 TEL 025-792-8811
(周辺自動車道 小出インターチェンジとなり)

プログラム

入場無料

開会のことば

総合司会 県立六日町病院 河内 文女
県立小出病院 院長 佐藤 幸示

講 演

18:05~18:30

「減らそう防ごう糖尿病」

上村医院 院長 上村 伯人



「地域における糖尿病予防対策」

魚沼地域振興局 健康福祉部 地域保健課

課長 小柳スイ子

18:30~20:00

「ここが地球のまん中です」

放送タレント 永 六輔

閉会のことば

庭山外科医院 院長 庭山 昌明

展示・相談コーナー 17:00~18:00 無料実施

10年後のあなたの将来は?

糖尿病リスクシミュレーションソフトであなたの将来を予測します。あなたのご家族の健康度(血糖・血圧・コレステロール値)を測定下さい。

血糖測定コーナー

栄養相談コーナー

お問い合わせ先

魚沼地域糖尿病対策推進会議事務局(上村医院)
TEL:025-792-0143 FAX:025-792-9291
E-mail:kami@net.ocn.ne.jp

主催 : 魚沼地域糖尿病対策推進会議 武井器具工業株式会社
後援 : 新潟県医師会 小千谷市魚沼市川口町医師会 十日町市中央魚沼郡医師会 南魚沼郡医師会
魚沼地域振興局健康福祉部 十日町地域振興局健康福祉部 南魚沼地域振興局健康福祉部
魚沼市 小千谷市 川口町 津南町 十日町市 南魚沼市 湯沢町





Project 8

糖尿病があっても、健康な人生を全うできること
合併症医療で地域医療経済が破たんしないこと

そのために、すべての糖尿病患者のグリコヘモグロビンを8%以下にという目標を定めた

「プロジェクト8」

患者も、医療者も、おなじ目標で地域の健康を守りたい

魚沼地域糖尿病対策推進会議

上村医院

上村 伯人(代表)

新潟県立小出病院

布施 克也

新潟県労働衛生医学協会

加藤 公則

4市2町

魚沼市 小千谷市

南魚沼市 十日町市

湯沢町 津南町

人口:22.5万人

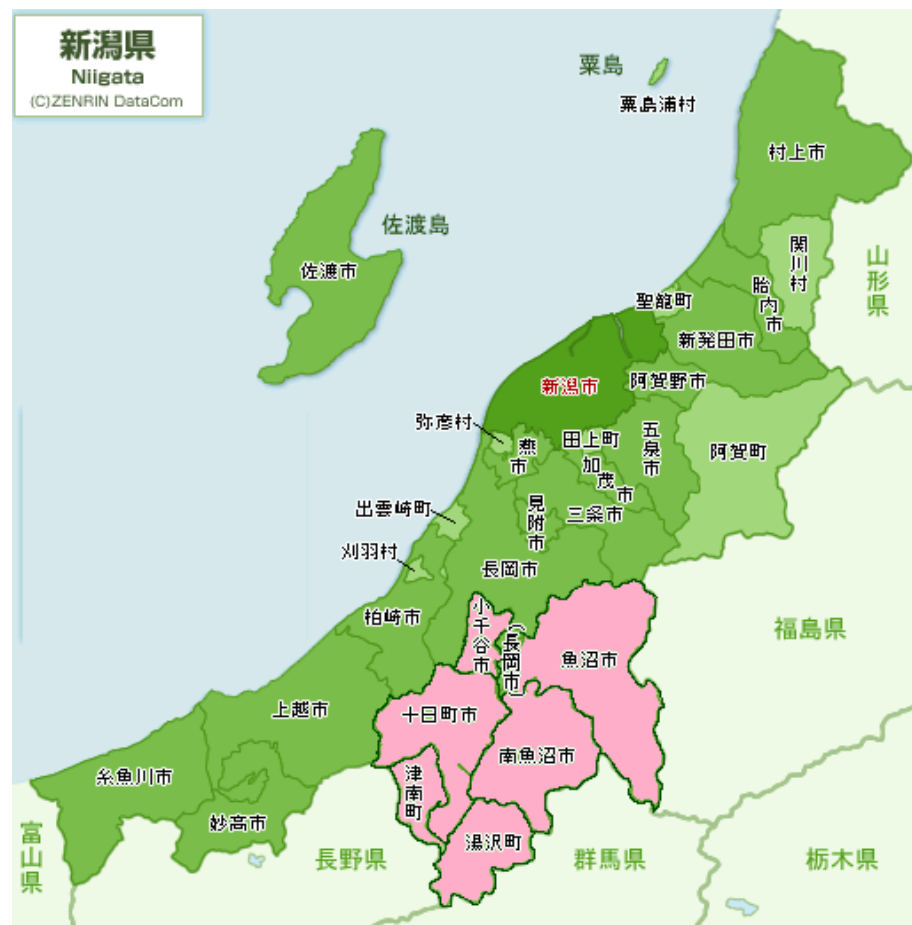
医師数:290人

(人口10万対 129人)

厚労科研:糖尿病地域連携研究(2010—2012年)

班長 国立国際医療研究センター

春日雅人 先生





魚沼から始まる 糖尿病への挑戦

糖尿病があっても、
健康な人生を送れること
合併症医療で
地域医療経済が破たんしないこと
そのために、すべての糖尿病患者の
ヘモグロビンA1cを
8%未満にという目標を定めた

「プロジェクト8」

患者も、医療者も、おなじ目標で
地域の健康を守りたい

医療者
プロジェクト8 ●医師・看護師・薬剤師・栄養士など、医療のプロの合言葉
“HbA1c 8%の患者さんをほっておかない”

連携
プロジェクト8 ●病院と、かかりつけ医の連携の合言葉
“HbA1c 8%が続いたら病院で精密検査”

患者
プロジェクト8 ●自分と家族の合言葉
“HbA1c 8%の自分や家族をほっておかない”

糖尿病、あなたは大丈夫？ お父さん、お母さん、 HbA1c 8%じゃダメ！

ヘモグロビン・エー・ワン・シー

HbA1cとは？
HbA1cは過去1～2ヶ月の血糖の状況を
映し、糖尿病のコントロールの指標に
なります。7%未満が安全域です。

Project 8
プロジェクト8とは
自分の健康と家族の健康を守るため、HbA1cを
8%未満にしようという
「高い目標」です。

私が大好きなのは、元氣なお父さん、お母さん。
だから8%のままじゃダメ!!

HbA1c信号

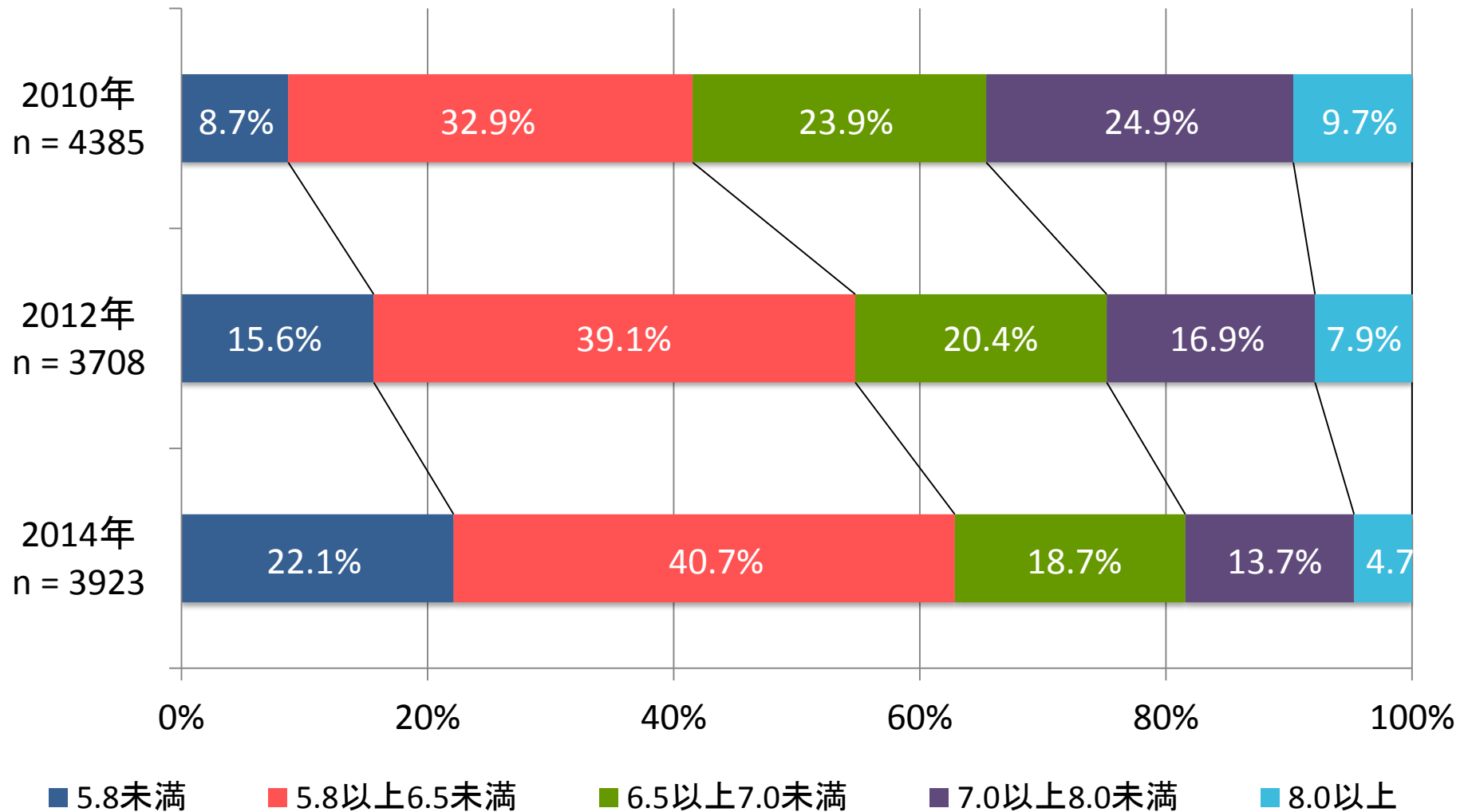
HbA1c信号	危険度	主治医からのメッセージ
8%	危ない！ 8%は赤信号だよ！	このままではいけません。 新しい治療法もあります。 まず病院で精密検査をしましょう。
7%	7%を超えないように、 もう少し スピード落とそうよ。	良い状態まで、あともう少し。 油断せず、合併症についての定期 検査を受けてください。
6%	安全運転続けてね。	良い状態です。 このまま続けましょう。

2015年2月21日（土）放送
『糖尿病 早い段階でくい止める！』



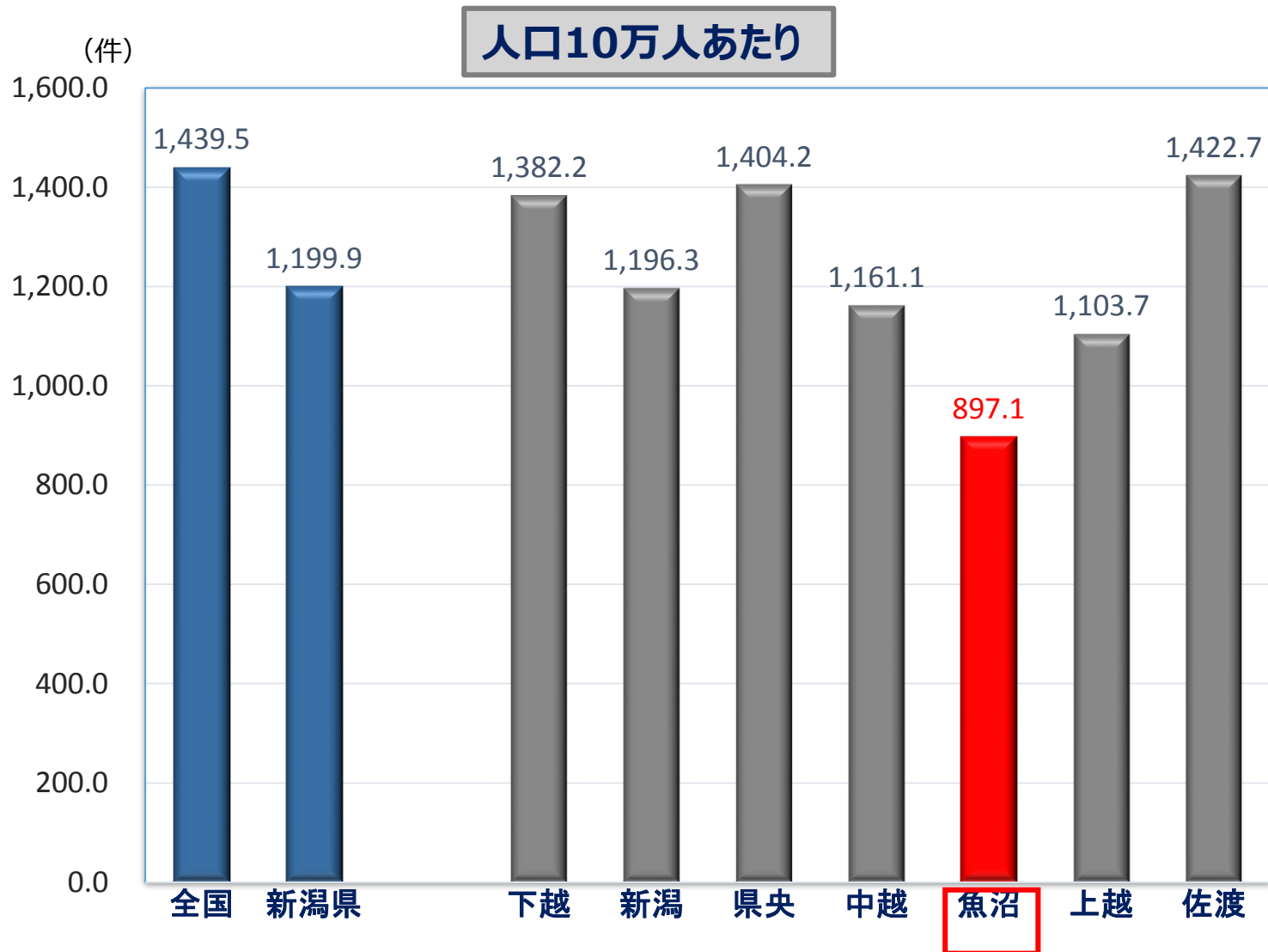
NHK「チョイス」で
Project8が
取り上げられました。

HbA1c(N)の変化



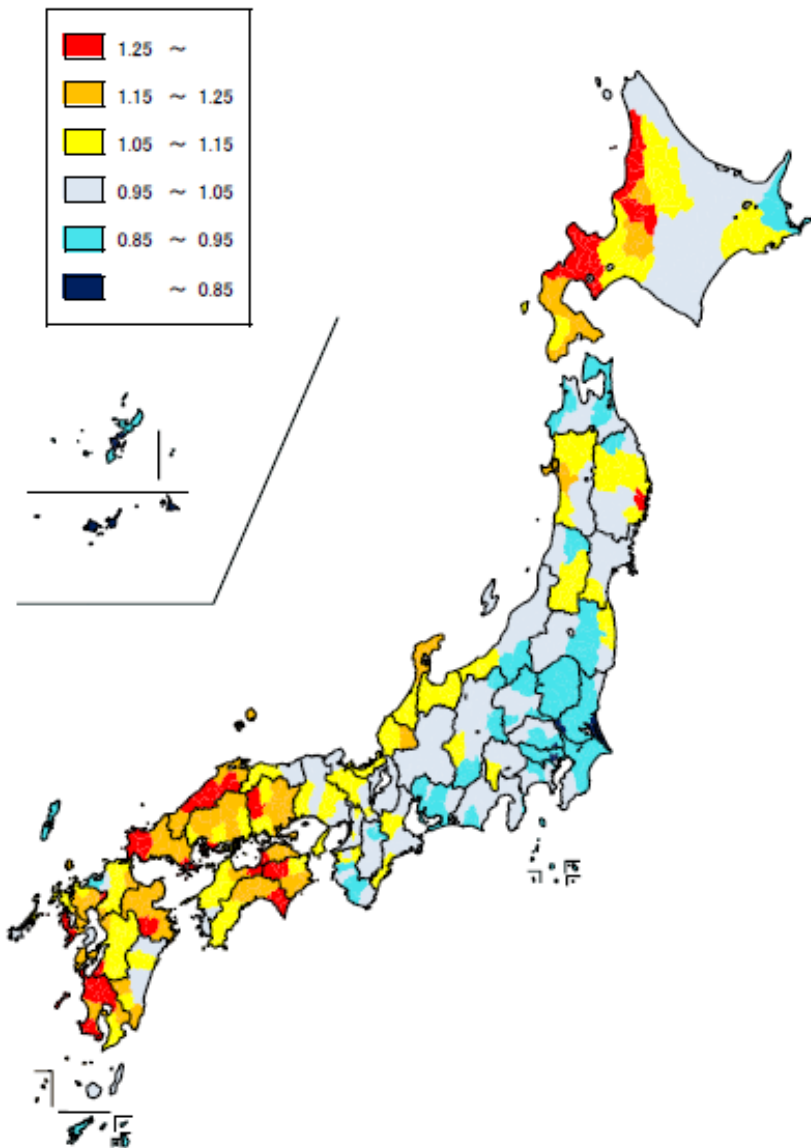
HbA1c(N) $\geq 8\%$ 以上の不良群は、経年的に減少傾向が見られ、2014年には全体の4.7%となった。
また、2014年にはHbA1c(N) $< 7\%$ の患者割合が8割を超えるなど、全体的に改善傾向が見られた。

糖尿病性腎症に対する人工透析実施件数【二次医療圏】

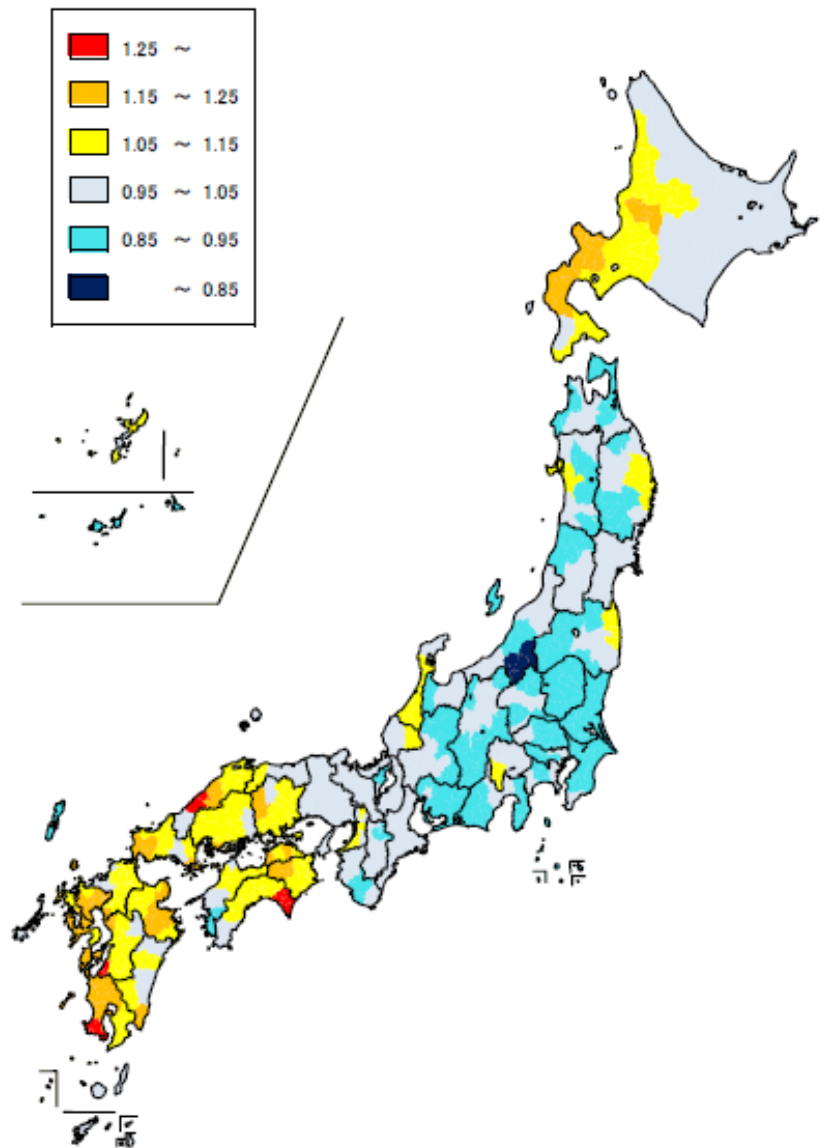


2次医療圏別医療費マップ【市町村国民健康保険】

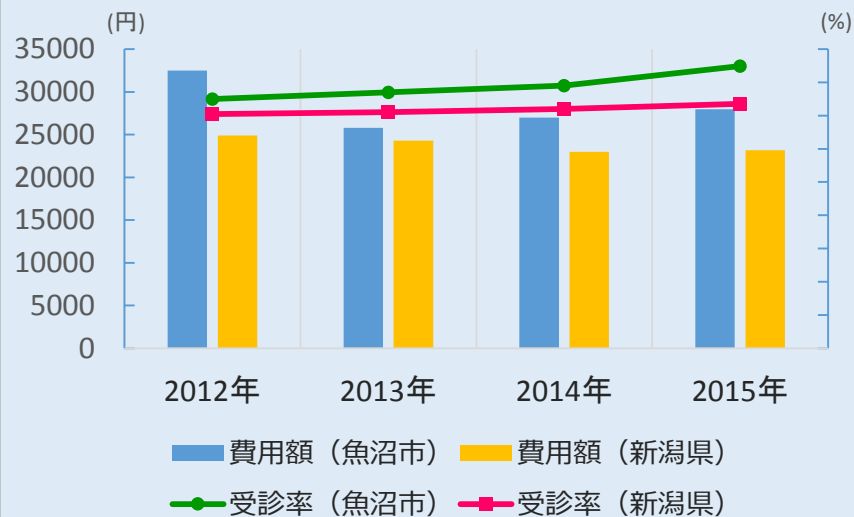
1人あたり実績医療費の対全国比（全国＝1）



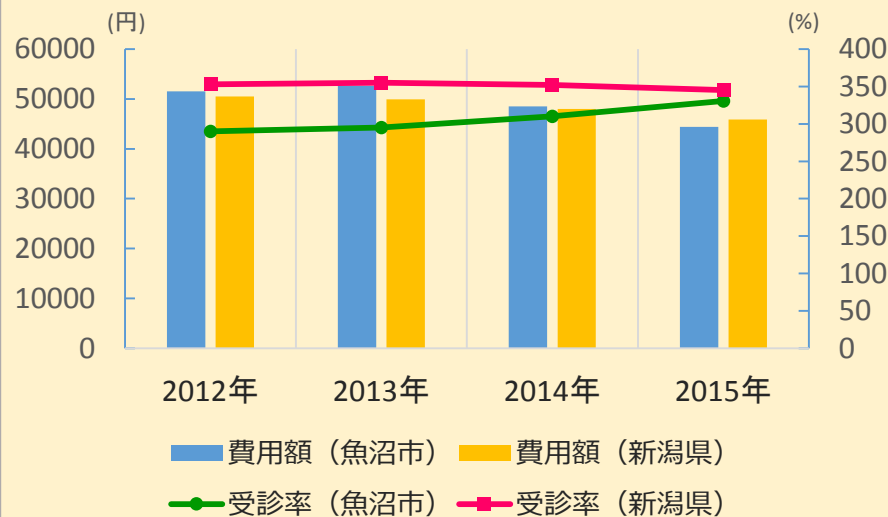
地域差指数（年齢補正後）



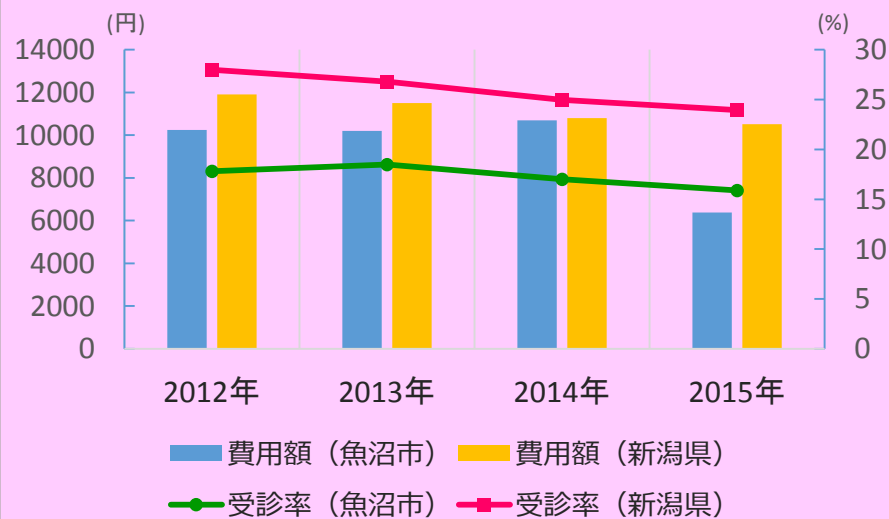
糖尿病



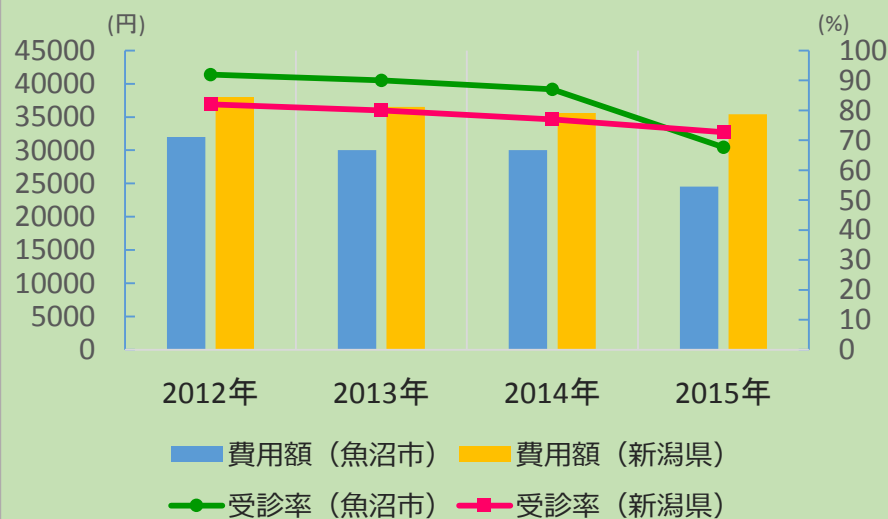
高血圧



虚血性心疾患



脳梗塞





プロジェクト8(エイト)

【魚沼】 糖尿病 (第5次地域保健医療計画における圏域別重点取組方針)

魚沼圏域別重点取組：糖尿病

魚沼圏域（3市2町）では、糖尿病の専門医が少ない状況下で患者が増加し、それに伴って合併症の発症率も増加傾向にあります。

病状が悪化して患者が腎症や網膜症などの合併症を起こすと、専門医不足のため、圏域内での対応が困難になっています。

患者が合併症を起こさず普通に生活を送れるようにするためには、早期発見・早期治療はもとより重症化を防ぐことが重要です。

このことから当圏域では、糖尿病患者が合併症を発症しないようにすることを地域保健医療施策の重点の一つと考えます。

○[糖尿病を放っておくとどうなるんだ？](#)（厚生労働省：糖尿病のホームページ）

施策の柱：3つの「プロジェクト8」

平成20年から魚沼市の医療関係者は、全ての糖尿病患者のヘモグロビンA1cを合併症リスクの分岐点となる8%未満へ下げること为目标とした「プロジェクト8（エイト）」に取り組んでいます。

この「プロジェクト8」を魚沼圏域全体の重点取組に広げ、次の3点を柱として総合的に推



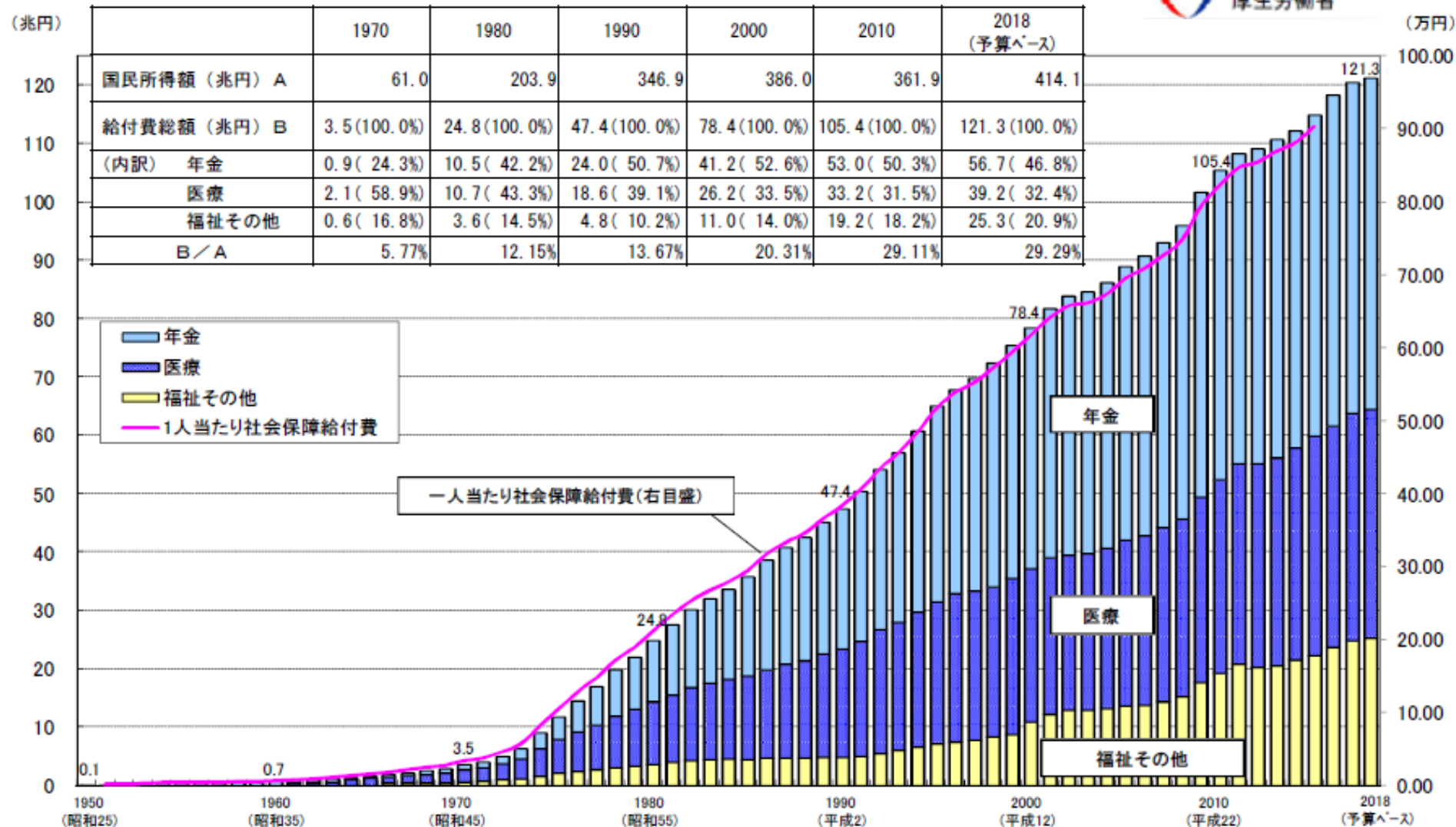
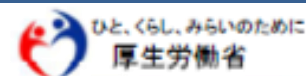
プロジェクト8のポスター

地域医療は

仕組み作り
(政治)

です。

社会保障給付費の推移



資料: 国立社会保障・人口問題研究所「平成27年度社会保障費用統計」、2016年度、2017年度、2018年度(予算ベース)は厚生労働省推計、

2018年度の国民所得額は「平成30年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度(平成30年1月22日閣議決定)」

(注) 図中の数値は、1950、1960、1970、1980、1990、2000及び2010並びに2018年度(予算ベース)の社会保障給付費(兆円)である。

出典: 厚生労働省

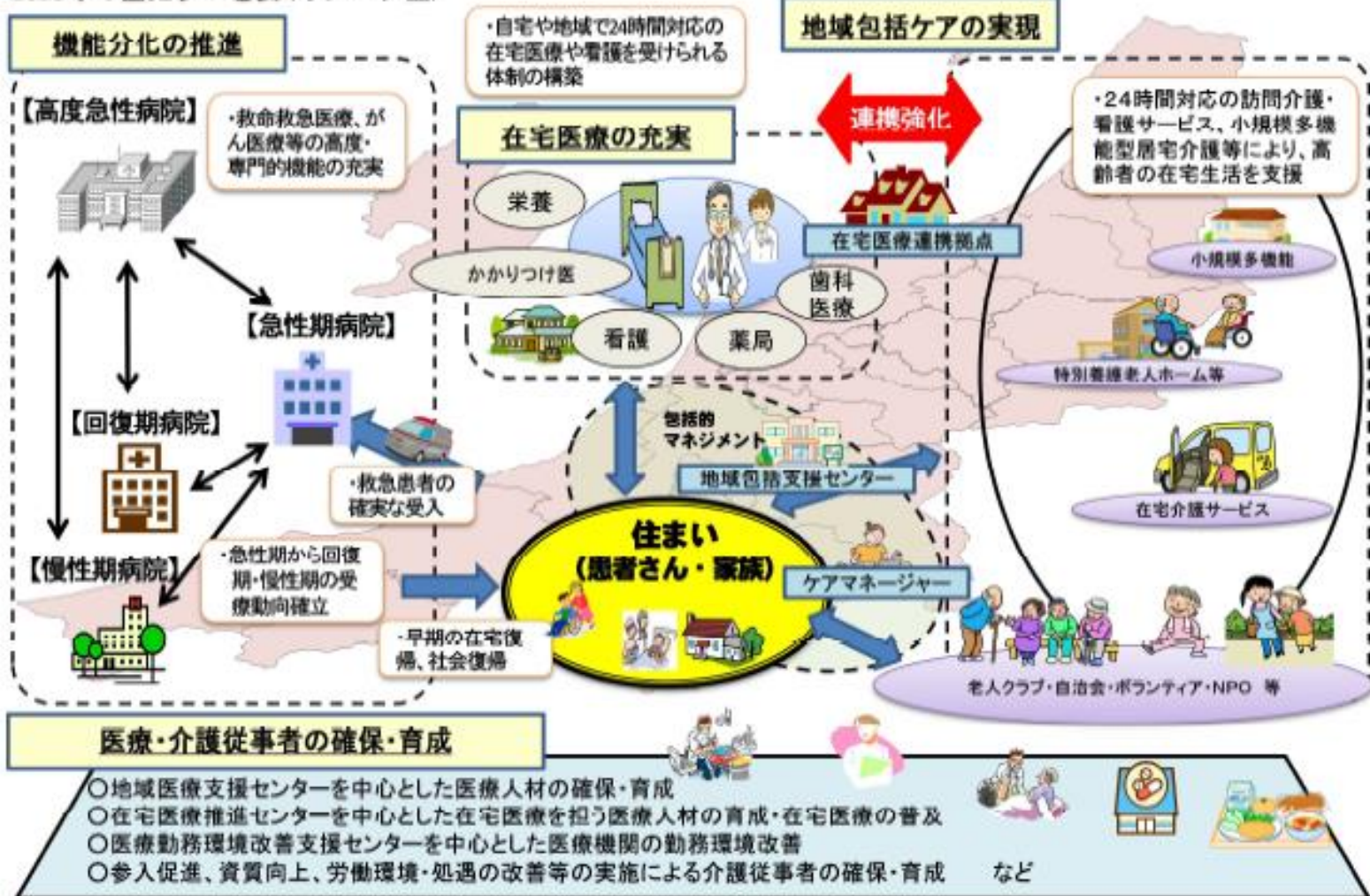
目指すべき医療・介護サービスの提供体制（全体像）

【目指すべき体制】

目指すべき医療・介護のサービス提供体制（全体像）

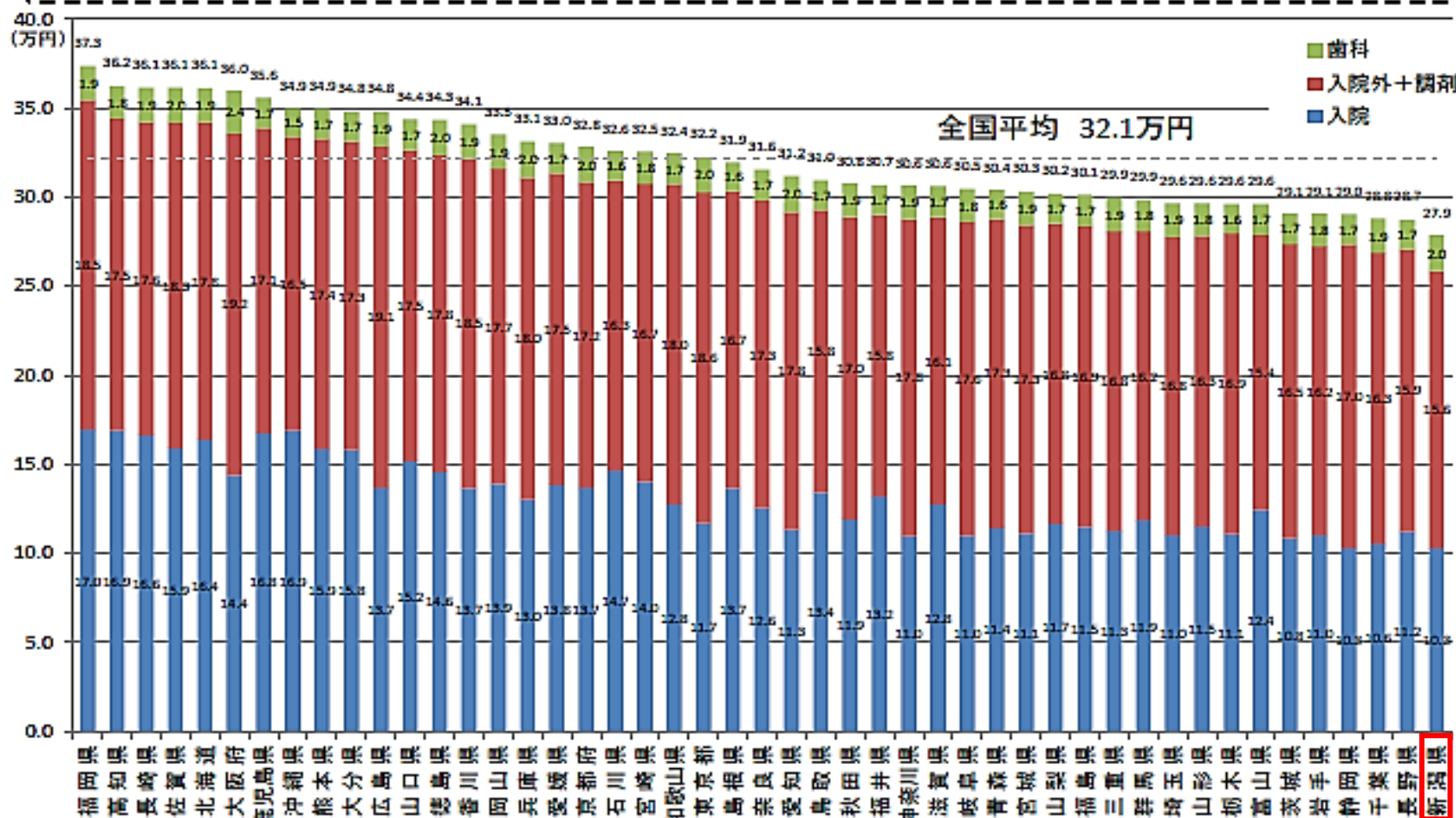
～地域包括ケアシステムの整備に向けた医療機関の機能分化の推進と多職種連携による医療・介護の連携体制の構築及びそれを支える人材の確保～

2025年の目指すべき姿（イメージ図）



都道府県別年齢調整後1人当たり医療費（国民医療費ベース）

○ 年齢調整後1人当たり医療費について、従来は地域保険（市町村国保、後期高齢者医療制度）のみを対象としていたが、被用者保険等を含めた国民医療費ベースで算出すると、一番高い福岡県（37.3万円）と一番低い新潟県（27.9万円）で9.5万円の差。



注 NDBの集計データ(平成26年度)及び「平成26年度 国民医療費」、「平成26年 患者調査」より算出。

医療費の各種指標（平成26年度）

	全国平均	年齢調整後医療費	
		新潟県	長野県
年齢調整後 1 人当たり医療費 （国民医療費ベース）	321,051円	278,552 （47位）	287,279（46位）
平均在院日数（日）	29日	30 （23位）	23（45位）
65歳以上人口10万対病床数（床） （介護を除く療養床数）	804床	486 （45位）	472（46位）
65歳以上人口10万対 介護施設定員数	2,810人	3,796 （2位）	3,231（14位）
人口10万対医師数（人）	244.5人	200.9 （43位）	226.9（33位）
人口10万対公民館数	11.2館	19.2 （20位）	72.1（1位）
75歳以上人口に占める 高齢単身世帯割合（%）	19.8%	12.7 （46位）	15.0（37位）
75歳以上就業率（%）	10.1%	10.9 （16位）	14.8（1位）
在宅での死亡率（%）	20.6%	21.5 （19位）	24.4（4位）

在宅医療



自宅での看取り



本人の望む住まいで療養を支える医療



新潟県の在宅医療体制

	人口10万人あたり		65才人口1万人あたり			
	病 院	診療所	訪問診療 件数(月)	在宅支援 診療所	訪問看護 ステーション	訪問看護師
全 国	6.72 ^{ヶ所}	79.5 ^{ヶ所}	300.4 ^件	4.6 ^{ヶ所}	2.5 ^{ヶ所}	10.4 ^人
新潟県	5.70	56.8	156.7	1.8	1.8	7.0
新潟市	5.50	81.9	188.0	2.1	2.3	9.4
長岡市	3.93	63.6	207.3	2.1	1.6	9.9
二市以外	6.18	39.3	131.8	1.6	1.6	5.3

出典:『在宅医療にかかる地域別データ集』 厚生労働省 平成26年度集計分

在宅医療を進めるために（その1）

フットワーク

午後から地域へ

チームワーク

多職種協働で

ネットワーク

顔の見える関係を

在宅医の役割

- 訪問診療 緊急往診 死亡診断
- 訪問看護師への指示 口頭・書面
- ケア会議出席・ケアマネ面会
- 主治医意見書記載
- 各種指示書記載（訪問看護 服薬指導等）
- 多職種連携 ケアチームの一員として



昭和15年頃の往診風景 上村伯太郎

往診風景(研修医と共に)



往診風景(訪問看護師と共に)



在宅医療・往診は特別な医療ではない

元々 医療は患者さんの所へ届ける形だった



在宅医療を進めるために（その2）

在宅医療のスタッフ＝病院の**経験あり**
（診療所・訪問看護ステーション）

病院のスタッフ＝在宅医療の**経験なし**

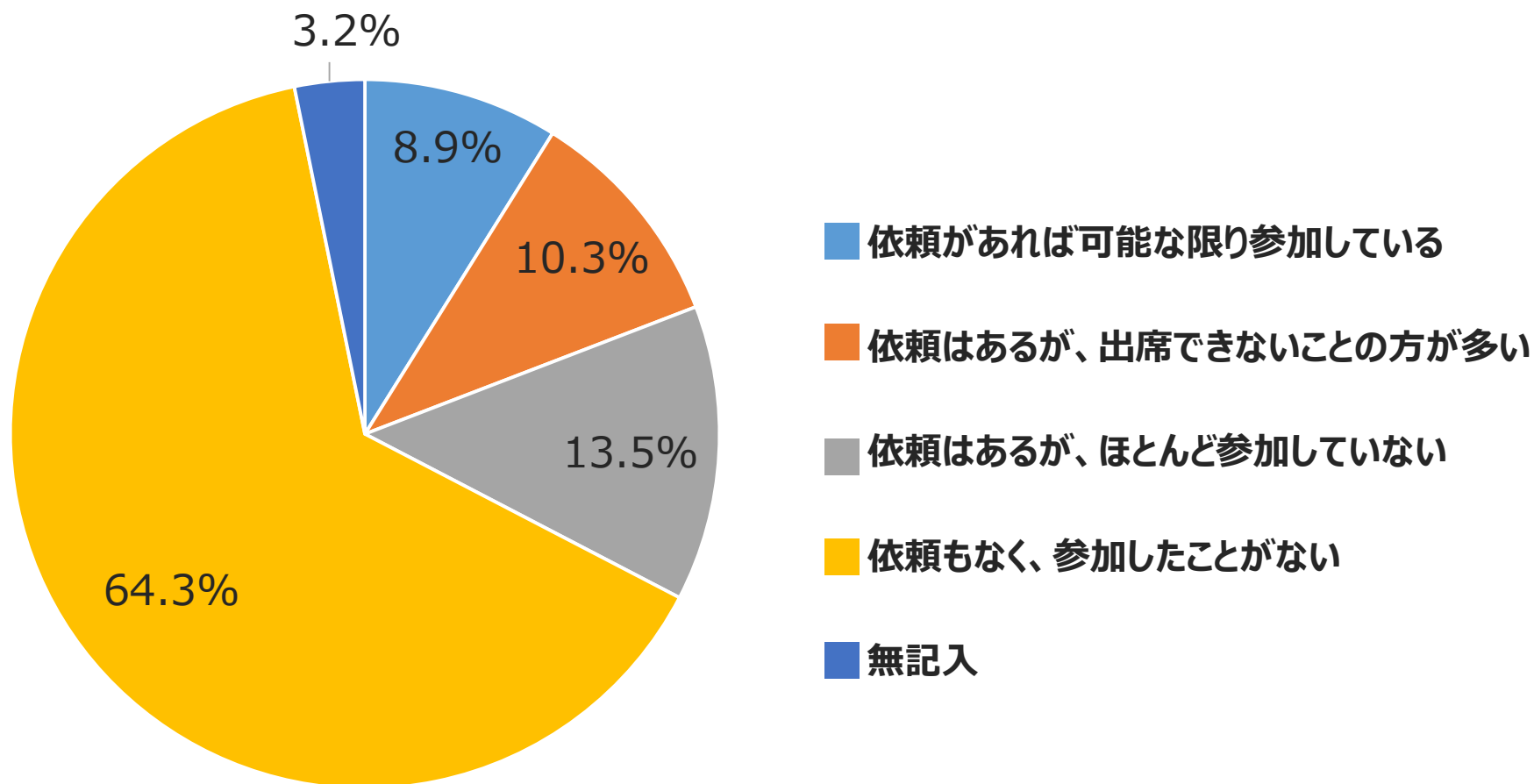


退院時のカンファランスは必須！
病院のスタッフも地域医療研修を！



互いに学び、教え合うIPEを！

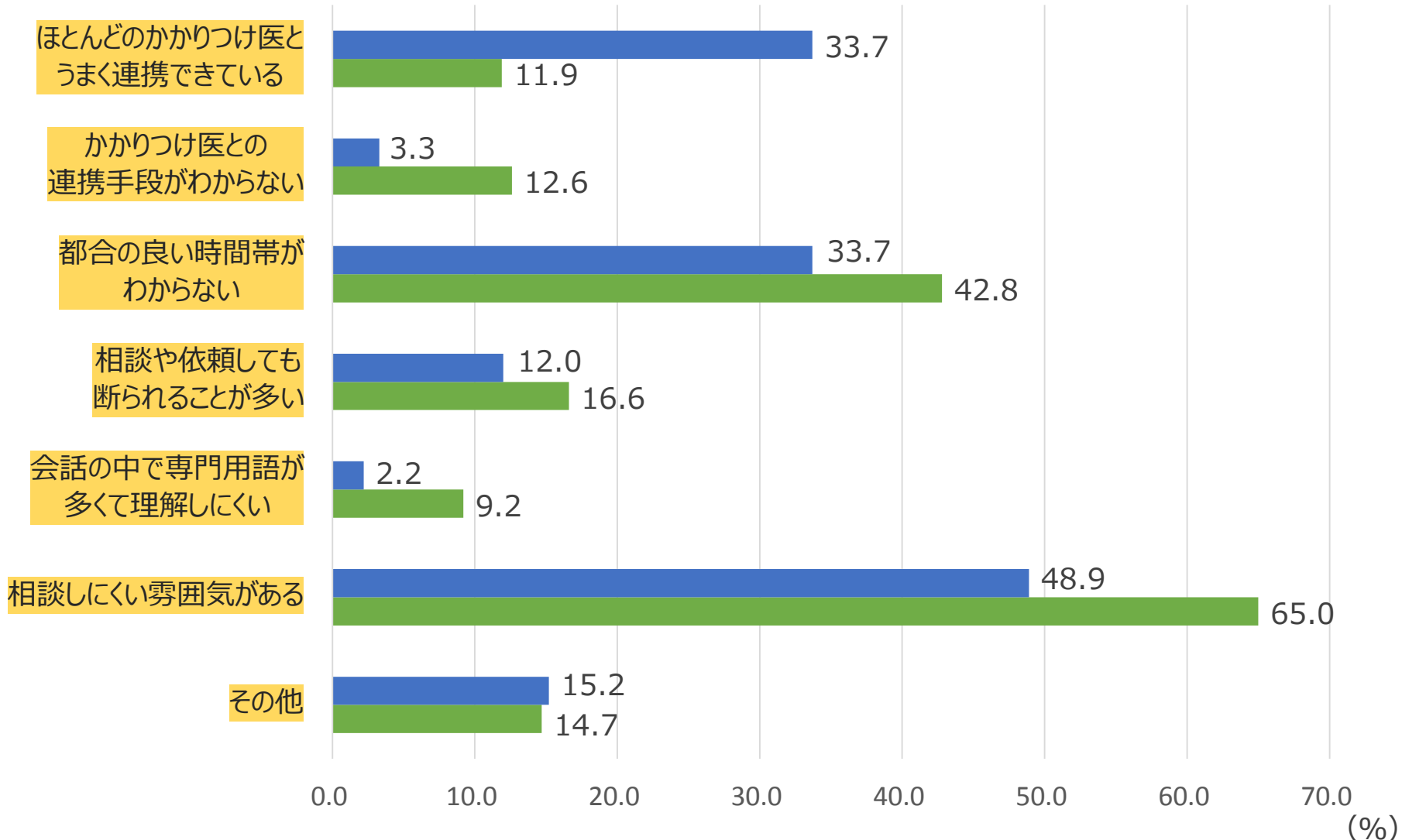
カンファレンスの出席・要請等 [診療所医師]



かかりつけ医との連携でうまくいかない理由

■ 訪問看護師

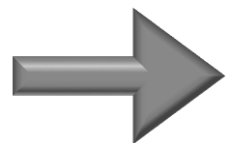
■ 介護支援専門員



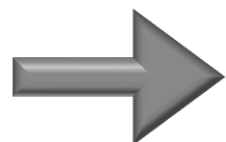
ひとりでは

医療（cure）も介護（care）も

充分にはできない



チームが育つ必要がある



連携と教育のシステムが必要

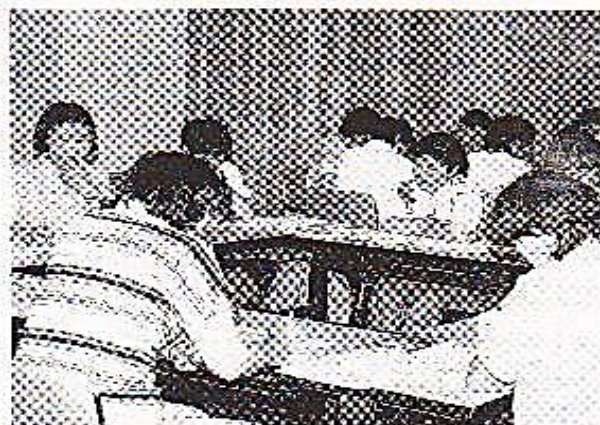
新潟日報

1998年（平成10年）

6月10日（木）

1998年(平成10年)6月20日 (土曜日)

福祉行政 手探りの証明



女性の参加が目立つケアプラン決定の研修会

介護研修 思わぬ盛況

近隣からどっと100人

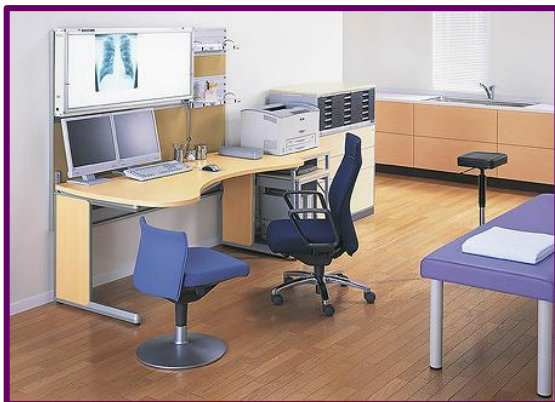
小 出

市立小出町の介護福祉研修会が、昨年度(97年度)の研修会に引き続き、今年も6月10日(木)に同町公民館で開かれた。参加者は、近隣の市町村から、約100人もの研修生が参加した。研修会は、午前9時から午後3時まで行われ、午前中は、介護福祉の基礎知識を学ぶ。午後からは、介護福祉の現場で働く方々の体験談を聞く。研修会は、市立小出町の介護福祉研修会が、昨年度(97年度)の研修会に引き続き、今年も6月10日(木)に同町公民館で開かれた。参加者は、近隣の市町村から、約100人もの研修生が参加した。

研修会は、今年1月と2月の2回、計2回開かれた。当初、町民は、研修会に参加する人数が、約20人程度と予想された。しかし、研修会が、町民から、大きな反響を呼び、参加人数が、約100人もの研修生が参加した。研修会は、市立小出町の介護福祉研修会が、昨年度(97年度)の研修会に引き続き、今年も6月10日(木)に同町公民館で開かれた。参加者は、近隣の市町村から、約100人もの研修生が参加した。

研修会は、市立小出町の介護福祉研修会が、昨年度(97年度)の研修会に引き続き、今年も6月10日(木)に同町公民館で開かれた。参加者は、近隣の市町村から、約100人もの研修生が参加した。研修会は、市立小出町の介護福祉研修会が、昨年度(97年度)の研修会に引き続き、今年も6月10日(木)に同町公民館で開かれた。参加者は、近隣の市町村から、約100人もの研修生が参加した。

研修会は、市立小出町の介護福祉研修会が、昨年度(97年度)の研修会に引き続き、今年も6月10日(木)に同町公民館で開かれた。参加者は、近隣の市町村から、約100人もの研修生が参加した。研修会は、市立小出町の介護福祉研修会が、昨年度(97年度)の研修会に引き続き、今年も6月10日(木)に同町公民館で開かれた。参加者は、近隣の市町村から、約100人もの研修生が参加した。



医師不足(全国平均の1/2)



保健・福祉との連携



豪雪地

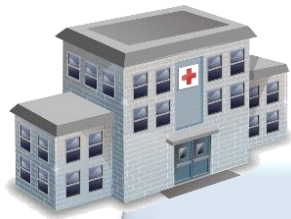


在宅医療



元々 地域内多職種連携が必然だった

地域包括ケアを支える医療と介護



病院(入院)

ケア

医療

臨時



在宅

ケア

生活介護

継続

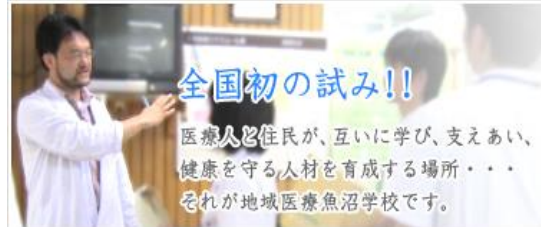
溝を埋める連携IPW



IPE(多職種連携教育)

地域医療魚沼学校

Yonuma school for community health and social care



「住民こそ医療資源」が

地域医療魚沼学校の合言葉です



魚沼の大自然で互いに学び、

支えあい、健康を守る人材を育成します



住民の医療知識を深めることが、
効率のよい医療体制を造る第一歩



● 地域医療魚沼学校とは

地域医療魚沼学校とは、深刻な医師不足に直面している魚沼地域の医師会が「住民の医療知識を深めることが、効率のよい医療体制をつくる第一歩」と位置付け、地元の医療関係者が、山奥の集会所まで医療保険の仕組みを教えに出向いたり地域指導者を育てる手助けをしたりと、さまざまなプログラムにより、互いに勉強し合うといった全国初の試みです

主な事業

1

住民の医療資源化支援事業

2

医療人育成事業

3

地域医療研修実習システム構築事業

4

地域包括ケアシステム構築事業

地域医療の指導法模索

小千谷 研修医の受け入れにらみ 担当医ら先進例学習

研修医に地域医療や診療所の現状を体験、理解してもらう地域医療保健研修について、指導にあたる医師らが魅力的な研修方法を模索する「指導医研修会」が二十日、小千谷市で開かれた。県内外から約七十人の医師や学生が参加。先進例を学ぶとともに、医療教育における地域医療の重要性を再確認した。



地域で行う新たな研修教育について学んだ
研修会に小千谷市のサマシおぢ

新制度により、来年度「保健研修を前倒しする形

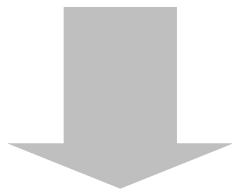
機関の研修受け入れをグループの取り組みが報
始めた小千谷市北魚沼郡
医師会(薩昌明会長)
が主催。
医師不足が深刻な地域
に若い医師を確保するた
めには充実した研修を用
意することが必要と、指
導医研修の場として企
画した。
先進地として、既に地
域医療研修で協力してい
る岡山大学岡山県医師
の根本忠院長が「普段の
業務内容の置しになっ
た。士気が上がり、他の
施設との連携が取れるよ
うになるなど、受け入れ
た」と感想を話した。
村松芳幸・新潟大教授
の面接技法についての講
演や、研修医、指導医な
ど役割を決めて実演しな
がら、具体的な指導法を

新潟日報

2004年(平成16年)

7月28日(木)

医師が医師を育てる

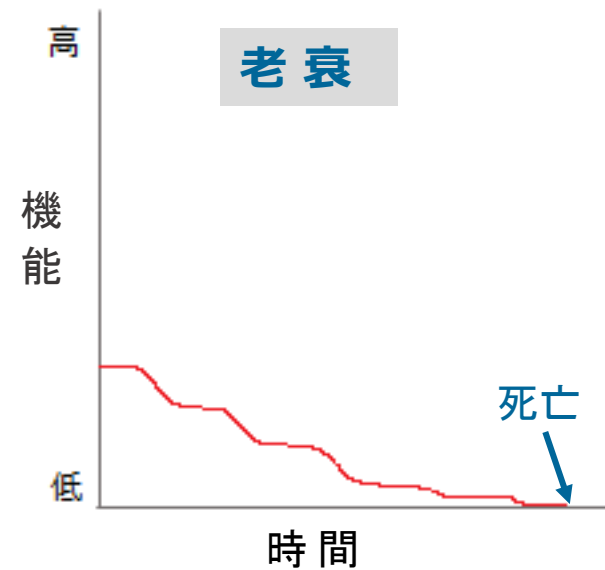
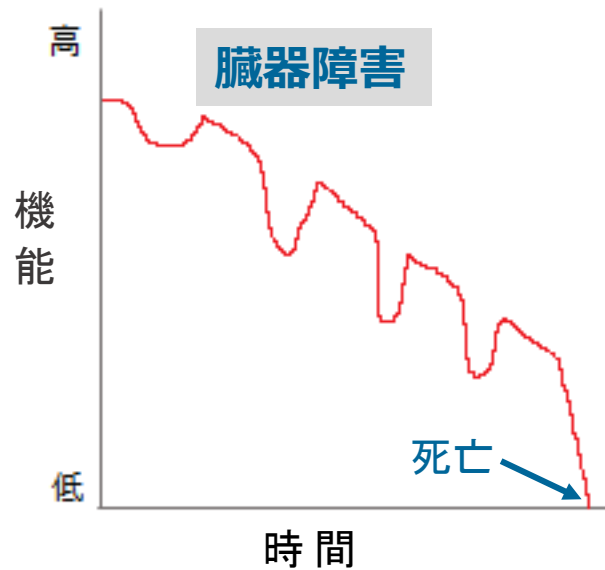
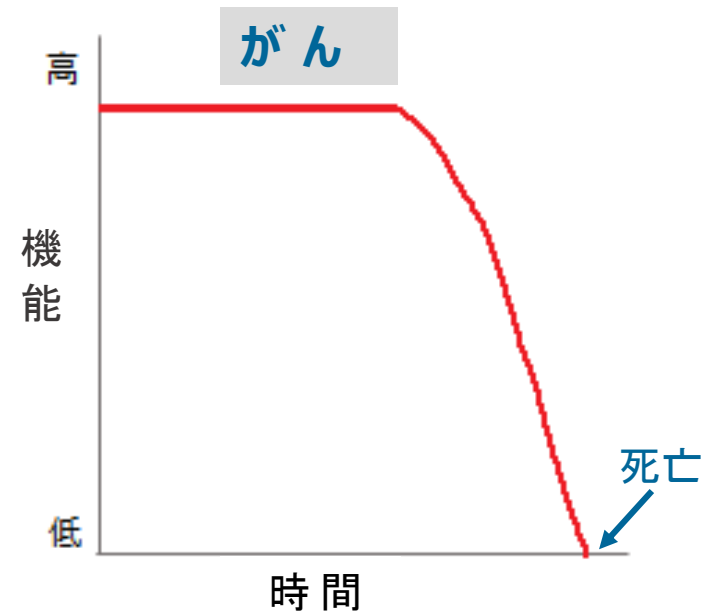
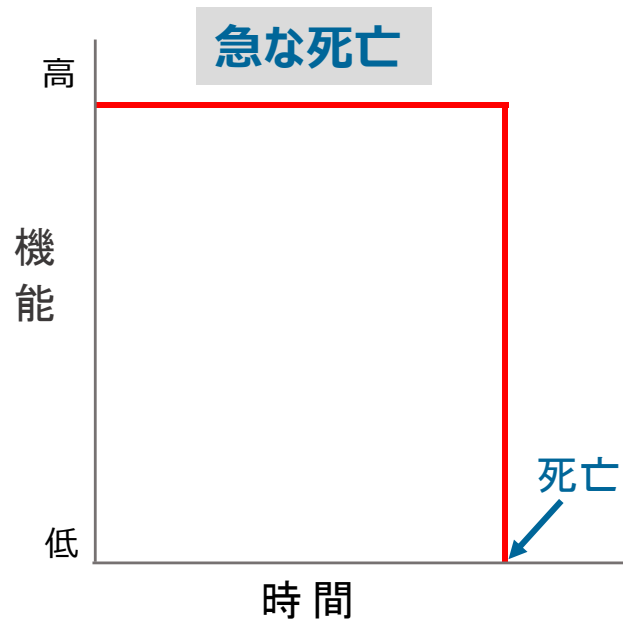


地域が医師を育てる



地域が**医療**を育てる

死亡までのパターンの概念



【平成30年3月14日】

「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」 の改訂について

【主な改訂のポイント】

高齢多死社会の進展に伴い、地域包括ケアの構築に対応する必要があることや、英米諸国を中心としてACP（アドバンス・ケア・プランニング）の概念を踏まえた研究・取組が普及してきていることなどを踏まえ、以下の点について改訂を行った。

1. 病院における延命治療への対応を想定した内容だけでなく、在宅医療・介護の現場で活用できるよう、次のような見直しを実施
 - 「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に名称を変更
 - 医療・ケアチームの対象に介護従事者が含まれることを明確化
2. 心身の状態の変化等に応じて、本人の意思は変化しうるものであり、医療・ケアの方針や、どのような生き方を望むか等を、日頃から繰り返し話し合うこと（＝ACPの取組）の重要性を強調
3. 本人が自らの意思を伝えられない状態になる前に、本人の意思を推定する者について、家族等の信頼できる者を前もって定めておくことの重要性を記載
4. 今後、単身世帯が増えることを踏まえ、「3」の信頼できる者の対象を、家族から家族等（親しい友人等）に拡大
5. 繰り返し話し合った内容をその都度文書にまとめておき、本人、家族等と医療・ケアチームで共有することの重要性について記載

地域医療
魚沼学校
講演会

平穏死 という選択

口から食べられなくなったらどうしますか？

人生の最終章をどう生きるか、
安らかな最期を迎えることについて、
自分自身やご家族はもちろん、
介護や医療に携わっているみなさんも
一緒に考えてみませんか？

参加費

無料

日時

2013年3月18日(月)
■午後6時～午後8時(受付:午後5時30分～)

会場

魚沼市地域振興センター 2階
コンベンションホール

講師

石飛 幸三 氏 (特別養護老人ホーム「芦花ホーム」常勤医)



プロフィール

1935年生まれ。61年慶応義塾大学医学部卒
70年ザウアーブルツ記念病院血管外科医。
72年東京都済生会中央病院勤務、93年同病院副院長。
2005年特別養護老人ホーム「芦花ホーム」常勤医、現在。
著書:「平穏死という選択」「平穏死のすすめ」他



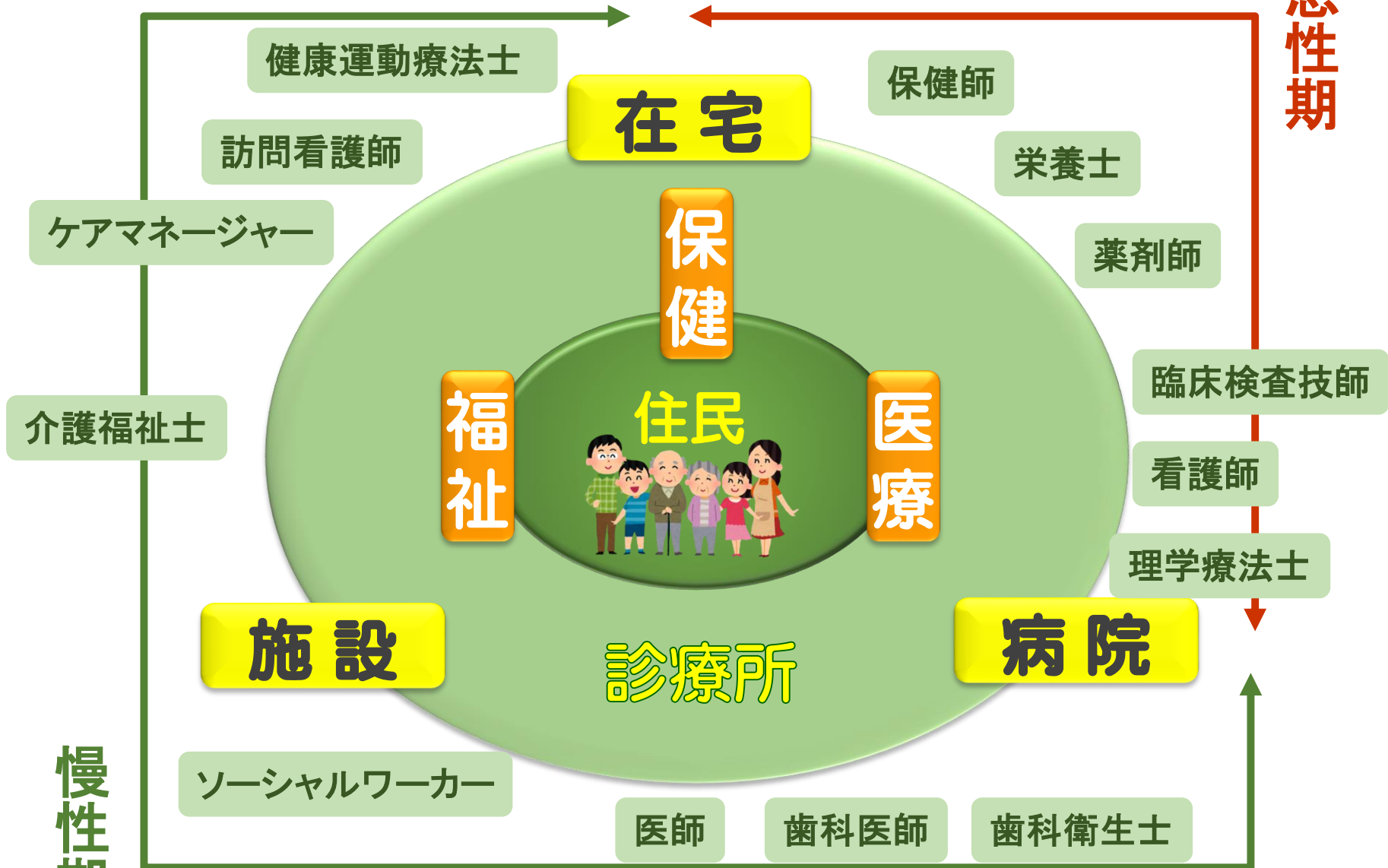
【主催・お問合せ】

地域医療魚沼学校

TEL/FAX 025-792-1167

地域医療

急性期



慢性期

地域医療は **育てる文化** です。

小医は病を医す

中医は人を医す

大医は国を医す

陳延之「小品方」

ご清聴ありがとうございました

地域のスポーツ文化を守る
スノーパーク小出(小出スキー場)

